科目名	Expression A(1) VT(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示	予習課題曲練習
2	4月24日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月8日	講義・演習	外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	5月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	5月22日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	5月29日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	6月5日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	6月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	6月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	7月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
11	7月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
12	7月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
13	8月21日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(1) Gt Melodic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。						
授業の学習内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニック(メジャー／マイナー)の構造、ポジションを覚え、 複数のキーで、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自分のトレーニングメニューを作成する方法、 パターン練習実践1。	メジャースケールを予習
2	5月13日	講義・演習	ピッキング3種類を覚える。 パターン練習実践2。	自分のトレーニングメニューを作成
3	5月20日	講義・演習	メジャースケールパターン2を覚える。 上行下行パターンを弾く。	オルタネイト・ピッキングで練習する
4	5月27日	講義・演習	メジャースケールパターン3を覚える。 3連パターンを弾く。	課題スケールの復習、練習メニューの見直し。
5	6月3日	講義・演習	メジャースケールパターン4を覚える。 4連パターンを弾く。	指板上のポジションを書き出してみる
6	6月10日	講義・演習	メジャースケールパターン5を覚える。 3度パターンの理解と練習を行う。	指板上の2-3ポジションを覚える
7	6月17日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	指板上の4-5ポジションを覚える
8	6月24日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	指板上の6-7ポジションを覚える
9	7月1日	講義・演習	ペンタトニック・パターン1を覚える。 3連での上下行パターンを弾く。	ペンタトニックのパターン1を2つのキーで書いてみる
10	7月8日	講義・演習	ペンタトニック・パターン2を覚える。 4連での上下行パターンを弾く。	ペンタトニックのパターン2を2つのキーで書いてみる
11	7月15日	講義・演習	ペンタトニック・パターン3を覚える。 HO上行, PO下行フレーズを弾く。	ペンタトニックのパターン3を2つのキーで書いてみる
12	7月22日	講義・演習	ペンタトニック・パターン4を覚える。 チョーキングを含むフレーズを弾く。	ペンタトニックのパターン4を2つのキーで書いてみる
13	8月26日	講義・演習	ペンタトニック・パターン5を覚える。 12小節ブルース、バンプでフレーズを弾く。	ペンタトニックのパターン5を2つのキーで書いてみる
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ。	楽曲の復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ。	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間(30分~)で練習する	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(1) Bass Line Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようになるための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する。	チャプター内のエクササイズの復習
2	4月25日	講義・演習	譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる。	チャプター内のエクササイズの復習
3	5月9日	講義・演習	コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	5月16日	講義・演習	度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	5月23日	講義・演習	#keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	5月30日	講義・演習	♭keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	6月6日	講義・演習	ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	6月13日	講義・演習	全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	6月20日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月4日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	7月11日	講義・演習	7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	7月18日	講義・演習	ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月22日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(1) Dr Control Theory(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールを身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	グリップ＆フォーム、フィンガーコントロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月21日	講義・演習	フットワークの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月12日	講義・演習	アクセレーションコントロール16分音符（3種類）の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月19日	講義・演習	アクセレーションコントロール3連符（2種類）の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月26日	講義・演習	ダブルストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月2日	講義・演習	5.7.9.11.13ストロークロールの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月9日	講義・演習	バズ、バズ5、バズ7の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月16日	講義・演習	シングルパラディドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月23日	講義・演習	ダブルパラディドル、トリプルパラディドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月30日	講義・演習	フラム、フラムアクセント16分&3連符の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月7日	講義・演習	フラムパラディドルの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月14日	講義・演習	フラムタップ、ラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月25日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(1) Key Play Tech(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。 および、シンセサイザーの基礎を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	4月21日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	5月12日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	5月19日	講義・演習	課題曲1の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	5月26日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	6月2日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	6月9日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	6月16日	講義・演習	課題曲2の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	6月23日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	6月30日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	7月7日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	7月14日	講義・演習	課題曲3の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業前・授業内で配布する譜面・音源等。

科目名	Expression A(2) VT(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
4	10月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	11月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	11月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	11月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	11月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	12月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	12月8日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
11	12月15日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月19日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月2日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング（個人面談なども有）、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(2) Gt Melodic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。						
授業の学習内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	アイオニアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	maj7バンプ進行で練習
2	10月16日	講義・演習	ドリアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
3	10月30日	講義・演習	フリジアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
4	11月6日	講義・演習	リディアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	maj7#11バンプ進行で練習
5	11月13日	講義・演習	ミクソリディアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	dom7バンプ進行で練習
6	11月20日	講義・演習	エオリアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
7	11月27日	講義・演習	ロクリアンの構造を理解し、ポジションを覚える。	m7b5バンプ進行で練習
8	12月4日	講義・演習	maj7/minor7/m7b5/dom7の4種類のアルペジオを弾く。	ポジション固定で アルペジオの切り替えを練習
9	12月11日	講義・演習	ディミニッシュスケールの構造を理解し、ポジションを覚える。	dim7バンプ進行で練習
10	12月18日	講義・演習	ホールトーンスケールの構造を理解し、ポジションを覚える。	II7b5バンプ進行で練習
11	1月15日	講義・演習	ハーモニックマイナーの構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7バンプ進行で練習
12	1月22日	講義・演習	メロディックマイナーの構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7バンプ進行で練習
13	2月5日	講義・演習	オルタードスケールの構造を理解し、ポジションを覚える。	dom7b9,dom7#9バンプ進行で練習
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ。	楽曲の復習
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ。	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間(30分~)でパターン練習、アドリブ練習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(2) Bass Line Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようになるための講義実習を行う。						
到達目標	1、メジャースケール、マイナースケールとそのダイアトニックコードの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 2、ブルースのハーモニーとそのコード進行、フレージングを理解し、演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	10月10日	講義・演習	ブルーノートの構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	10月17日	講義・演習	様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	10月31日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月7日	講義・演習	メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月14日	講義・演習	メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	11月21日	講義・演習	分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	11月28日	講義・演習	ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月5日	講義・演習	クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	12月12日	講義・演習	マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	12月19日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月16日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月23日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(2) Dr Control Theory(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールや、連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を広げて欲しい。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールと連符感を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ラフ、4.5ストロークラフの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月13日	講義・演習	ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月20日	講義・演習	ドラッグパラディドルNo.1.2の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月27日	講義・演習	ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、トリプルラタマキューの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月3日	講義・演習	ルーディメンツ総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月10日	講義・演習	チェンジアップの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月17日	講義・演習	2拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月24日	講義・演習	4拍3連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月1日	講義・演習	3拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月8日	講義・演習	3拍4連on4/4の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月15日	講義・演習	5拍4連、カウント、コンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月19日	講義・演習	7拍フレーズの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	2月2日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(2) Key Play Tech(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。与えられた楽曲に対して、どのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	10月13日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	10月20日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	10月27日	講義・演習	課題曲4の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	11月3日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	11月10日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	11月17日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	11月24日	講義・演習	課題曲5の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	12月1日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	12月8日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	12月15日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	1月19日	講義・演習	課題曲6の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業前・授業内で配布する譜面・音源等。

科目名	Expression B(1) Vocal Reading(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 ・ 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを学んでいき、個々の活動の可能性の幅を広げていく。□						
到達目標	正しいリズムの理解と、正しいピッチでのメロディ歌唱を出来るようにする。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業の説明、自己紹介、 音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディを歌う。□	予習・復習など
2	4月21日	講義・演習	リズム→全音符、2分、4分(休符も同様)で正しく歌う。 メロディ歌唱→4分音符のメロディC～Fまでを歌う。□	予習・復習など
3	5月12日	講義・演習	リズム→8分を歌う。 メロディ歌唱→4分音符のメロディC～Fまでを歌う。	予習・復習など
4	5月19日	講義・演習	リズム→16分を歌う。簡単なリズムとメロディを聴き取り。 メロディ歌唱→4音分のメロディC～Gまでを歌う。□	予習・復習など
5	5月26日	講義・演習	リズム→4/2拍子を学ぶ。16分を歌う。簡単なリズムとメロディを聴き取り。 メロディ歌唱→4分音符のメロディC ～Gまでを歌う。□	予習・復習など
6	6月2日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディを聴き取り。 メロディ歌唱→4分音符・2分音符のメロディC ～Aまでを歌う。□	予習・復習など
7	6月9日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディの聴き取り。 メロディ歌唱→4分音符・2分音符のメロディC～Aを歌う。□	予習・復習など
8	6月16日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディの聴き取り。メロディ歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディC ～上のC までを歌う。□	予習・復習など
9	6月23日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディの聴き取り。 メロディ歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディC ～上のC までを歌う。□	予習・復習など
10	6月30日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディの聴き取り。 メロディ歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディC ～上のC までを歌う。□	予習・復習など
11	7月7日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディの聴き取り。 メロディ歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディC ～上のC までを歌う。□	予習・復習など
12	7月14日	講義・演習	前期テスト範囲発表。前期の総復習。□	テスト勉強
13	8月25日	講義・演習	前期テスト。	テスト勉強
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。□	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。□	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

バークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。□

科目名	Expression B(1) Gt Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギター・プレイヤー／インストラクターとして活動する一方で、ギター・マガジン誌をはじめとする音楽専門誌でギター奏法系の記事を多数担当。						
授業の学習内容	・多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するためのトライアド・フォームの習得と、それを用いたエクササイズを通して、基本的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。						
到達目標	・CAGEDシステムを理解し、コード・ボイシングを体系的に学ぶ。 ・コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	CAGEDシステムを理解し、コード・ボイシングを体系的に学ぶ。コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする	メジャー・フォームの予習と復習
2	4月21日	講義・演習	開放ポジションのマイナー・フォーム	マイナー・フォームの予習と復習
3	5月12日	講義・演習	E型とA型のフォーム移動	E型＆A型フォームの予習と復習
4	5月19日	講義・演習	C型とG型のフォーム移動	C型＆G型フォームの予習と復習
5	5月26日	講義・演習	D型のフォーム移動	D型フォームの予習と復習
6	6月2日	講義・演習	各フォームの構成音を理解する	コード構成音の確認
7	6月9日	講義・演習	省略フォームの考察と実践	省略フォームの予習と復習
8	6月16日	講義・演習	分数コードへの対応	分数コードの仕組みを確認
9	6月23日	講義・演習	トライアドの変化型＝sus4	sus4フォームの予習と復習
10	6月30日	講義・演習	トライアドの変化型＝dim	dimフォームの予習と復習
11	7月7日	講義・演習	トライアドの変化型＝aug	augフォームの予習と復習
12	7月14日	講義・演習	コード進行への実践アプローチ	ダイアトニック・コードの予習と復習
13	8月25日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全フォームの復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習　時間外学習			リズム＆グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	

【使用教科書・教材・参考書】

H.C.1教科書、補足教材適宜

科目名	Expression B(1) Ba Groove Analyze(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	現代音楽を弾くためのリズムやベース・パートの成り立ちが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方法、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して各音符の長さや、記号、楽譜の読み取り、曲調など音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、リズムと楽器の成り立ちを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、扱う楽曲に対する理解力が上がることで、Jazz、Rock、Popsなどジャンル毎にフレーズや、ビート、音色などの使い分けができることが目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	グルーヴの重要性とスタンダード・ミディ・ファイルの取扱方法を説明する。	Chapter01の予習
2	5月13日	講義・演習	4分、8分休符とタイとを使用した時の違いを説明する。	Chapter01の復習とChapter02の予習
3	5月20日	講義・演習	4分、8分休符を体得する。(エクササイズ)	Chapter02の復習とChapter03の予習
4	5月27日	講義・演習	スタッカート、テヌート記号のグルーヴ的な違いを説明する。	Chapter03の復習とChapter04の予習
5	6月3日	講義・演習	スタッカートやテヌートを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter04の復習とChapter05の予習
6	6月10日	講義・演習	アクセントの意味、シンコペーション記号の意味合いを説明する。	Chapter05の復習とChapter06の予習
7	6月17日	講義・演習	アクセント、シンコペーションを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter06の復習とChapter07の予習
8	6月24日	講義・演習	音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを説明する。	Chapter07の復習とChapter08の予習
9	7月1日	講義・演習	音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter08の復習とChapter09の予習
10	7月8日	講義・演習	基本的な8ビートパターンとパターンの作り方を説明する。	Chapter09の復習とChapter10の予習
11	7月15日	講義・演習	基本的な8ビートのパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter10の復習とChapter11の予習
12	7月22日	講義・演習	基本的な16ビートパターンとパターンの作り方を説明する。	Chapter11の復習とChapter12の予習
13	8月26日	講義・演習	基本的な16ビートのパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter12の復習とChapter13の予習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ	楽曲の復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player

科目名	Expression B(1) Dr Groove Making(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、 T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニック、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。						
到達目標	手足の連動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。 様々なエクササイズの反復によりトレーニングに向かう行動を習慣化させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	楽器構造の基礎理解。ドラムセットの発展経緯（背景）	手足のコンビネーションに関するプラクティスの消化
2	4月25日	講義・演習	8ビート／キック・パターンの実践。「バックビート」に関する考察	キック・バリエーションの練習。フォーム・チェック
3	5月9日	講義・演習	8ビート／4Wayトレーニングの実践。「タイム感」に関する考察	手足のバランスを保つ練習。クリック練習の深掘り。
4	5月16日	講義・演習	8ビート／ハット・オープンなどの表情に関する考察。アンサンブル・スタンスの理解	楽曲のためのドラムの役割を研究する。
5	5月23日	講義・演習	16ビート／片手継続とキック・バリエーションのトレーニング。ゴーストモーションの考察	特有なフォームに慣れる練習。
6	5月30日	講義・演習	16ビート／セット内オーケストレーションの実践	移動及びフィルインの練習
7	6月6日	講義・演習	16ビート／両手継続とパターン実践。バランスのチェック	アクセント・ワークを組み入れたトレーニングの実施
8	6月13日	講義・演習	16ビート／バリエーションの実践。「パルス・イメージ」に関する考察	フォーム特有のフィールを研究する
9	6月20日	講義・演習	16ビート／ゴースト・ノートを多用したサンプルの実践。バリエーション紹介	ダイナミクスに重点を置いてのプラクティスの消化
10	7月4日	講義・演習	シャッフルフィールの習得。リズム構造の理解と実践	パターン・シーケンスによるフィールの浸透
11	7月11日	講義・演習	トラディショナル・スタイルの理解と実践	ハネ方のニュアンスを研究する
12	7月18日	講義・演習	3連符包括のフィールの実践。「ゴースト・ノート」に関する考察	拍の細分化の精度を高める練習
13	8月22日	講義・演習	3連符包括のフィールの実践。ゴーストノート	教材Chap.13内のプラクティスの消化。Chap.14の自習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ。本番までの時間を自己管理する	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			エクササイズ内容の習得に関して、時間を要する物とそうでない物があることを認識する必要がある	

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版／ドラマーズ・ハンドブック「Dr Groove Making 1」

科目名	Expression B(1) Key Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	キーボーディスト、作編曲等において必要なハーモニーの知識と演奏技術を学び、様々なジャンルでのアプローチ方法やアンサンブル演奏、作曲、作編の中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	学習したハーモニー、スケールを使用して前期で学習したジャンルに適したフィールで、正確なタイムでアドリブを演奏する事ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	メジャーダイアトニックコード内でのコードワーク。	プリントの復習と課題、コードワークが滑らかに演奏できるように練習。
2	5月7日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケール、Straight Pop,Rock。	プリントの復習と課題、スケールとコードワークが滑らか演奏できるように練習。
3	5月14日	講義・演習	メジャートライアドコードの転回形、アルペジオ。	プリントの復習と課題、転回形コードワークが滑らか演奏できるように練習。
4	5月21日	講義・演習	2、3、6thを意識したフレーズについて。	プリントの復習と課題、スケールの位置を変化させ滑らかに演奏できるように練習。
5	5月28日	講義・演習	マイナーペンタトニック、Straight Rock Piano。	プリントの復習と課題、スケールとコードワークが滑らかに演奏できるように練習。
6	6月4日	講義・演習	マイナートライアドコードの転回形、アルペジオ。	プリントの復習と課題、転回形コードワークが滑らか演奏できるように練習。
7	6月11日	講義・演習	♭3、4、♭7thを意識したフレーズについて。	プリントの復習と課題、スケールの位置を変化させ滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
8	6月18日	講義・演習	Maior Bluesについて。	プリントの復習と課題、コードワークが滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
9	6月25日	講義・演習	Bluesのハーモニー、リック、演奏の基礎について。	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
10	7月2日	講義・演習	Blue Noteを意識したフレーズ、アドリブについて。	プリントの復習と課題、フレージングのアクセントが滑らかに演奏できるように練習。
11	7月9日	講義・演習	m♭5コードについて。IIm♭5-V-Ⅰ。	プリントの復習と課題、コードワークが滑らかに演奏できるように練習。
12	7月16日	講義・演習	m♭5を意識したフレーズについて。	プリントの復習と課題、スケールがコードワークの中で滑らかに演奏できるように練習。
13	8月27日	講義・演習	メジャー、マイナー課題曲の演奏発表、アドバイス。	復習、応用力をつけるための練習、イベントの準備。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキル学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	Expression B(2) Vocal Reading(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	潤豊 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを学んでいき、個々の活動の可能性の幅を広げていく。□						
到達目標	正しいリズムの理解と、正しいピッチでのメロディ歌唱を出来るようにする。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。メロディ歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディを歌う。	予習・復習など
2	10月13日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。メロディ歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディを歌う。	予習・復習など
3	10月20日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。メロディ歌唱→8部休符を含めたメロディを歌う。	予習・復習など
4	10月27日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。 メロディ歌唱→付点4部音符を含めたメロディを歌う。	予習・復習など
5	11月3日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。メロディ歌唱→3/4拍子のメロディを歌う。	予習・復習など
6	11月10日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。メロディ歌唱→3/4拍子のメロディを歌う。	予習・復習など
7	11月17日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。	予習・復習など
8	11月24日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。ら メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。	予習・復習など
9	12月1日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディとリズムの聴き取り。 メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。	予習・復習など
10	12月8日	講義・演習	後期の総復習。アカペラ練習。	テスト勉強
11	12月15日	講義・演習	後期テスト。	特になし
12	1月19日	講義・演習	アカペラ練 習。	予習・復習など
13	2月2日	講義・演習	アカペラ発表 会。	予習・復習など
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

バークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。

科目名	Expression B(2) Gt Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギター・プレイヤー／インストラクターとして活動する一方で、ギター・マガジン誌をはじめとする音楽専門誌でギター奏法系の記事を多数担当。						
授業の学習内容	・多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するための7thフォームの習得と、それを用いたエクササイズを通して、 基本的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。						
到達目標	・各種7thコードを習得し、コード・ボイシングを体系的に学ぶ。 ・コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	各種7thコードの仕組みを知る	7thコードの構成音の確認
2	10月13日	講義・演習	開放ポジションでの実践コード・ワーク(1)	開放7thフォームの予習と復習
3	10月20日	講義・演習	開放ポジションでの実践コード・ワーク(2)	開放7thフォームの予習と復習
4	10月27日	講義・演習	押弦7thフォームの習得と実践(1)	各種7thフォームの予習と復習
5	11月3日	講義・演習	押弦7thフォームの習得と実践(2)	各種7thフォームの予習と復習
6	11月10日	講義・演習	押弦7thフォームの習得と実践(3)	各種7thフォームの予習と復習
7	11月17日	講義・演習	minor7th(♭5)への対応	minor7th(♭5)の予習と復習
8	11月24日	講義・演習	dim7thへの対応	dim7thの予習と復習
9	12月1日	講義・演習	省略ボイシングを学習する	省略フォームの予習と復習
10	12月8日	講義・演習	3音構成のBCSを学習する	BCSフォームの予習と復習
11	12月15日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(1)	各種7thフォームの復習
12	1月19日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(2)	各種7thフォームの復習
13	2月2日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全7thフォームの復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習　時間外学習			リズム＆グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	

【使用教科書・教材・参考書】

H.C.1補足教材適宜

科目名	Expression B(2) Ba Groove Analyze(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	現代音楽を弾くためのリズムやベース・パートの成り立ちが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方法、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	シャッフルビートのリズム的な捉え方とジャンルとの関係について説明する。	Chapter13の復習とChapter14の予習
2	10月21日	講義・演習	トリプレットフィールのリズムの捉え方と楽曲について説明する。	Chapter14の復習とChapter15の予習
3	10月28日	講義・演習	ハマーオンとプルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。	Chapter15の復習とChapter16の予習
4	11月4日	講義・演習	ハマーオンとプルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。	Chapter16の復習とChapter17の予習
5	11月11日	講義・演習	スライドダウン、スライドアップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。	Chapter17の復習とChapter18の予習
6	11月18日	講義・演習	スライドダウン、アップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。	Chapter18の復習とChapter19の予習
7	11月25日	講義・演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンについて説明する。	Chapter19の復習とChapter20の予習
8	12月2日	講義・演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter20の復習とChapter21の予習
9	12月9日	講義・演習	バウンス・ビートのリズム的な捉え方と基本的なパターンを説明する。	Chapter21の復習とChapter22の予習
10	12月16日	講義・演習	バウンス・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter22の復習とChapter23の予習
11	1月13日	講義・演習	ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを説明する。	Chapter23の復習とChapter24の予習
12	1月20日	講義・演習	ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを実践する。(エクササイズ)	Chapter24の復習
13	2月3日	講義・演習	1年次の補足とまとめ。	Chapter25の予習
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ。	楽曲の復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ。	楽曲の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player

科目名	Expression B(2) Dr Groove Making(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、 T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニック、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。						
到達目標	手足の連動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。 またアンサンブルに近い環境での能動的なグルーヴの発動にもトライしていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	16ビート／バウンスフィールの仕組みを学ぶ	教材Chap.16内のプラクティスの消化(Step1~4)
2	10月10日	講義・演習	16ビート／バウンスフィールの実践。	教材Chap.17内のプラクティスの消化（ハネ方の維持）
3	10月17日	講義・演習	16ビート／6連符包括の理解と実践	教材Chap.18内のプラクティスの消化（拍内細分化）
4	10月31日	講義・演習	16ビート／バウンスポイントの理解。ハネ率の把握	教材Chap.19内のプラクティスの消化（聴き取り＆実践）
5	11月7日	講義・演習	8ビート実践。能動的感覚の重要性を学ぶ	グルーヴメイク・トライアル(Chap.20)の消化
6	11月14日	講義・演習	8ビート実践。他者フィールを取り込む柔軟性を知る	グルーヴメイク・トライアル(Chap.21)の消化
7	11月21日	講義・演習	16ビート実践。音色、タイミング等ニュアンスの決定	グルーヴメイク・トライアル(Chap.22)の消化
8	11月28日	講義・演習	16ビート実践。シンコペーション・アプローチの設定	グルーヴメイク・トライアル(Chap.23)の消化
9	12月5日	講義・演習	16ビート実践。ハネたフィールの継続を試みる	グルーヴメイク・トライアル(Chap.24)の消化
10	12月12日	講義・演習	シャッフルビート実践。フィールの継続と拡張	グルーヴメイク・トライアル(Chap.25)の消化
11	12月19日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの構造と歴史的背景を学ぶ	Chap.26内プラクティスの消化。ボサノバ基本型の練習
12	1月16日	講義・演習	ボサノバ・フィールの理解と実践	Chap.27内プラクティスの消化。バリエーションの練習
13	1月23日	講義・演習	ボサノバ・フィールの実践。グルーヴポイントを知る	Chap.28内プラクティスの消化（マイナスワン音源）
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ。本番までの時間を自己管理する	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			エクササイズ内容の習得に関して、時間を要する物とそうでない物があることを認識する必要がある	

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版／ドラマーズ・ハンドブック「Dr Groove Making 1」

科目名	Expression B(2) Key Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	前期の内容をふまえながら、更に演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	学習したハーモニー、スケールを使用して前期で学習したジャンルに適したフィールで、正確なタイムでアドリブを演奏する事ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	dim7コードについて。	dim7のコードワークが滑らかに演奏できるように練習。
2	10月15日	講義・演習	dim7を意識したフレーズについて。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
3	10月22日	講義・演習	augコードについて。	augのコードワークが滑らかに演奏できるように練習。
4	10月29日	講義・演習	♯5を意識したフレーズについて。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
5	11月5日	講義・演習	sus4、7sus4コードについて。	sus4,7sus4のコードワークが滑らかに演奏できるように練習。
6	11月12日	講義・演習	4thを意識したフレーズについて。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
7	11月19日	講義・演習	add9コードについて。	add9のコードワークが滑らかに演奏できるように練習。
8	11月26日	講義・演習	add9コードからのクリシェ、フレーズについて。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
9	12月3日	講義・演習	テンションコード、9thコードについて。	プリントの復習と課題、各コードの機能を意識しながら滑らかに演奏できるように練習、予習。
10	12月10日	講義・演習	コードワーク1　soul&R&B。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
11	12月17日	講義・演習	モードについて。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
12	1月14日	講義・演習	コードワーク2　Swing Jazz。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
13	1月21日	講義・演習	オルタードハーモニーについて。	オルタードハーモニーへのアレンジメントを意識しコードワークが滑らかに演奏できるように練習。
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	SPL(1) SPL(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
2	4月24日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
3	5月8日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
4	5月15日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
5	5月22日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
6	5月29日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
7	6月5日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
8	6月12日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
9	6月19日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
10	7月3日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
11	7月10日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
12	7月17日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
13	8月21日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
14	8月28日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
15	9月11日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、Solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	SPL(2) SPL(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
2	10月16日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
3	10月30日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
4	11月6日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論、solo アドリブ、質問	基礎トレーニング
5	11月13日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
6	11月20日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
7	11月27日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
8	12月4日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
9	12月11日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
10	12月18日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
11	1月15日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
12	1月22日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
13	2月5日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
14	2月12日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
15	2月19日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Playing Style Analysis(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	奥出矢 清水賢治 鈴木克弘 長谷龍之介
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	Playing Style Analysis 授業（楽曲の演奏についての解説）と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。 後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。						
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	4月24日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	5月8日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
4	5月15日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
5	5月22日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
6	5月29日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
7	6月5日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
8	6月12日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、 担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
9	6月19日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
10	7月3日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
11	7月10日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
12	7月17日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
13	8月21日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音・録画し、復習を行う為、携帯端末や iPad

科目名	Playing Style Analysis(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	奥出矢 清水賢治 鈴木克弘 長谷龍之介
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	Playing Style Analysis 授業（楽曲の演奏についての解説）と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。 後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。						
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	10月16日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	10月30日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
4	11月6日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
5	11月13日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
6	11月20日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
7	11月27日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
8	12月4日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
9	12月11日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
10	12月18日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
11	1月15日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
12	1月22日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
13	2月5日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音・録画し、復習を行う為、携帯端末や iPad

科目名	Band Ensemble A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	奥出矢 清水賢治 鈴木克弘 長谷龍之介 西涼子 大友昌憲
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。 後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。						
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	4月24日	講義・演習	UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	5月8日	講義・演習	UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。
4	5月15日	講義・演習	UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
5	5月22日	講義・演習	UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。
6	5月29日	講義・演習	UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身が書き出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗譜する。
7	6月5日	講義・演習	UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。
8	6月12日	講義・演習	UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。
9	6月19日	講義・演習	UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。
10	7月3日	講義・演習	UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
11	7月10日	講義・演習	UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
12	7月17日	講義・演習	UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
13	8月21日	講義・演習	UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音・録画し、復習を行う為、携帯端末や iPad

科目名	Band Ensemble A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	奥出矢 清水賢治 鈴木克弘 長谷龍之介 西涼子 大友昌憲
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。 後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。						
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
2	10月16日	講義・演習	UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
3	10月30日	講義・演習	UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
4	11月6日	講義・演習	UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
5	11月13日	講義・演習	UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
6	11月20日	講義・演習	UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	これまでの授業で学んだ洋楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。
7	11月27日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
8	12月4日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
9	12月11日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
10	12月18日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
11	1月15日	講義・演習	UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
12	1月22日	講義・演習	UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べれるよう、楽曲を理解する。
13	2月5日	講義・演習	UNIT-11　課題曲2曲の演習を行う。	年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音・録画し、復習を行う為、携帯端末や iPad

科目名	Band Ensemble B(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	奥出矢 清水賢治 鈴木克弘 長谷龍之介 西涼子 大友昌憲
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	Playing Style Analysis 授業（楽曲の演奏についての解説）と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。						
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽曲のアナライズを行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	4月24日	講義・演習	UNIT-1（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
3	5月8日	講義・演習	UNIT-1（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。
4	5月15日	講義・演習	UNIT-2（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
5	5月22日	講義・演習	UNIT-2（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	曲の構成（イントロや歌メロごとの小節数）を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。
6	5月29日	講義・演習	UNIT-3（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身が書き出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗譜する。
7	6月5日	講義・演習	UNIT-3（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	他の実技（ボイストレーニングやテクニック系）授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。
8	6月12日	講義・演習	UNIT-4（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。
9	6月19日	講義・演習	UNIT-4（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。
10	7月3日	講義・演習	UNIT-5（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
11	7月10日	講義・演習	UNIT-5（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
12	7月17日	講義・演習	UNIT-6（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
13	8月21日	講義・演習	UNIT-6（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ。	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ。	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音・録画し、復習を行う為、携帯端末や iPad

科目名	Band Ensemble B(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	奥出矢 清水賢治 鈴木克弘 長谷龍之介 西涼子 大友昌憲
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	Playing Style Analysis 授業（楽曲の演奏についての解説）と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。						
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	UNIT-7（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
2	10月16日	講義・演習	UNIT-7（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
3	10月30日	講義・演習	UNIT-8（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
4	11月6日	講義・演習	UNIT-8（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
5	11月13日	講義・演習	UNIT-9（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
6	11月20日	講義・演習	UNIT-9（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	これまでの授業で学んだ洋楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。
7	11月27日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
8	12月4日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
9	12月11日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
10	12月18日	講義・演習	進級制作展楽曲に取り組む	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
11	1月15日	講義・演習	UNIT-10（1週目） 課題曲2曲の演習を行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
12	1月22日	講義・演習	UNIT-10（2週目） 課題曲2曲の演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べれるよう、楽曲を理解する。
13	2月5日	講義・演習	UNIT-11　課題曲2曲の演習を行う。	年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	リハーサルのための準備姿勢を自己解析する
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ	本番までの時間を自己管理する
準備学習　時間外学習			担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音・録画し、復習を行う為、携帯端末や iPad

科目名	BIGBAND(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	石戸谷斉 坂東邦宣
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。						
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	大編成の中で演奏し体験する	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	4月26日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月10日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月17日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月24日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	5月31日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月7日	講義・演習	コード理論（ダイアトニック）を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月14日	講義・演習	コード理論（ノンダイアトニック）を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月21日	講義・演習	スケールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月5日	講義・演習	コードから作れるフレーズを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月12日	講義・演習	楽曲の構成組み立てを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	8月23日	講義・演習	アドリブやセッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月30日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習□	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通してプレイヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	BIGBAND(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	石戸谷斉 坂東邦宣
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 (4単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。						
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	アンサンブルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月11日	講義・演習	指揮の見方読み取り方を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月18日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	11月1日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月8日	講義・演習	演奏におけるコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月15日	講義・演習	コールアンドレスポンスの自発的な発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月22日	講義・演習	クラシック音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月29日	講義・演習	Jazz音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月6日	講義・演習	映画音楽を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月13日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月20日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月17日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月24日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Acoustic Guitar Techniques(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	基本的なコード、ストローク、フィンガーピッキング、アルペジオ、即興演奏、曲のアレンジなどを学ぶ						
到達目標	基本的なコードとストロークを習得し、簡単な曲を、自信を持って演奏できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	ギターの各部位の名称、チューニング方法、正しい持ち方。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
2	4月21日	講義・演習	基本コード: C、G、D、A、Eのオープンコード。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
3	5月12日	講義・演習	ストロークパターン: 基本的なストロークパターンの練習。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
4	5月19日	講義・演習	コードチェンジ: スムーズなコードチェンジの練習。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
5	5月26日	講義・演習	簡単な曲の演奏: 2-3コードの簡単な曲を演奏。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
6	6月2日	講義・演習	フィンガーピッキング: 基本的なフィンガーピッキングのテクニック。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
7	6月9日	講義・演習	リズム感の向上: メトロノームを使ったリズム練習。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
8	6月16日	講義・演習	バレーコードの導入: Fコードなどのバレーコードの練習。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
9	6月23日	講義・演習	タブ譜を使った簡単なメロディの演奏。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
10	6月30日	講義・演習	これまでの内容の復習と応用。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
11	7月7日	講義・演習	Am、Em、Dmなどのマイナーコード。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
12	7月14日	講義・演習	新しいストロークパターンの練習。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
13	8月25日	講義・演習	基本的なアルペジオのテクニック。	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ。	イベントに向けたギター演奏の取り組み
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ。	イベントに向けたギター演奏の取り組み
準備学習　時間外学習			授業外でのギター演奏・練習と復習を行う	

【使用教科書・教材・参考書】

プリント資料を配布。

科目名	Acoustic Guitar Techniques(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	基本的なコード、ストローク、フィンガーピッキング、アルペジオ、即興演奏、曲のアレンジなどを学ぶ						
到達目標	基本的なコードとストロークを習得し、簡単な曲を、自信を持って演奏できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	好きな曲を選んでコード進行やリズムを分析	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
2	10月13日	講義・演習	バレーコードを使った曲の演奏	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
3	10月20日	講義・演習	複雑なフィンガーピッキングの練習	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
4	10月27日	講義・演習	7thコードやsusコードなどの複雑なコード	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
5	11月3日	講義・演習	複雑なアルペジオのテクニック	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
6	11月10日	講義・演習	中級レベルの曲の演奏	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
7	11月17日	講義・演習	簡単なギターソロの練習	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
8	11月24日	講義・演習	音楽理論の基礎: 簡単な音楽理論の学習	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
9	12月1日	講義・演習	即興演奏の強化: 即興演奏の練習	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
10	12月8日	講義・演習	テンションの入ったコードについて(1)	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
11	12月15日	講義・演習	テンションの入ったコードについて(2)	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
12	1月19日	講義・演習	テンションの入ったコードについて(3)	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
13	2月2日	講義・演習	パフォーマンスの準備: パフォーマンスのための練習	授業外でのギター演奏・練習と復習を行う
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ	イベントに向けたギター演奏の取り組み
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ	イベントに向けたギター演奏の取り組み
準備学習　時間外学習			授業外でのギター演奏・練習と復習を行う	

【使用教科書・教材・参考書】

プリント資料を配布。

科目名	Inst Ensemble(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋：1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。						
授業の学習内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル)を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション（アイコンタクトなど）やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。						
到達目標	インストゥルメンタル（楽器のみ）の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢（コミュニケーションなど）とスタンダードなリズム、フィール（ジャンル）を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week1の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
2	5月13日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week1配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week2の予習。
3	5月20日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week2の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
4	5月27日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week2配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week3の予習。
5	6月3日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week3の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
6	6月10日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week3配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week4の予習。
7	6月17日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week4の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
8	6月24日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week4配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week5の予習。
9	7月1日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week5の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
10	7月8日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week5配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week6の予習。
11	7月15日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week6の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
12	7月22日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week6配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week7の予習。
13	8月26日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする。	Week7の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
準備学習　時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料・音源

科目名	Inst Ensemble(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋：1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。						
授業の学習内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル）を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション（アイコンタクトなど）やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。						
到達目標	インストゥルメンタル（楽器のみ）の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢（コミュニケーションなど）とスタンダードなリズム、フィール（ジャンル）を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする。	Week7配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week8の予習。
2	10月21日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール（R&B)の解説と演習をする。	Week8の配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
3	10月28日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール（R&B)の解説と演習をする。	Week8配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week9の予習。
4	11月4日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート。解説と演習をする。	Week9の配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
5	11月11日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート。解説と演習をする。	Week9配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week10の予習。
6	11月18日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート。解説と演習をする。	Week10の配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
7	11月25日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート。解説と演習をする。	Week10配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week11の予習。
8	12月2日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック。解説と演習をする。	Week11の配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
9	12月9日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック。解説と演習をする。	Week11配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week12の予習。
10	12月16日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week12の配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
11	1月13日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week12配布音源にて練習と未達成箇所の復習。Week13の予習。
12	1月20日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week13の配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
13	2月3日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week13配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習。
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習。。
準備学習　時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料・音源

科目名	DTM(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。 またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYouTuberへの楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習内容	DAWを使っての打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。 自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYouTubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディやコード進行を、DAW(Logic)を使ってアレンジする事を目的とする。 YouTubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人でできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ソフトシンセをインストゥルメントトラックにセットして音を出す事ができる	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
2	4月24日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
3	5月8日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
4	5月15日	講義・演習	MIDIノートの入力方法と編集方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディをスマホに保存しておく
5	5月22日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディをスマホに保存しておく
6	5月29日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディをスマホに保存しておく
7	6月5日	講義・演習	MIDIクリップの取り扱い方を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
8	6月12日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
9	6月19日	講義・演習	MIDIデータのリアルタイム入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
10	7月3日	講義・演習	マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
11	7月10日	講義・演習	マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
12	7月17日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
13	8月21日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディとコード進行を作ってストックしておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナル

科目名	DTM(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。 またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYouTuberへの楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習内容	DAWを使っての打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。 自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYouTubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディやコード進行を、DAW(Protools)を使ってアレンジする事を目的とする。 YouTubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人でできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ソフトサンプラー「Structure Free」を学ぶ	Structure Freeを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
2	10月16日	講義・演習	ドラム専用バーチャルインストゥルメント「Boom」を学ぶ	Boomを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
3	10月30日	講義・演習	マルチティンバー音源「Xpand!2」を学ぶ	Xpand!2の中にある気に入った音色をプロジェクトファイルに保存しておく
4	11月6日	講義・演習	セッションのテンポ、キー、拍子の設定方法を学ぶ	オリジナル曲のテンポ、キー、拍子を変えてみる
5	11月13日	講義・演習	クオンタイズでタイミングをずらす方法を学ぶ	色々なクオンタイズを試してグルーヴを理解しておく
6	11月20日	講義・演習	ベロシティーとコントローラーイベントの編集方法を学ぶ	レーンを開いて全ての編集方法に触れておく
7	11月27日	講義・演習	オーディオレコーディングを学ぶ	オリジナルのメロディをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
8	12月4日	講義・演習	オーディオ波形の編集を学ぶ	オリジナルのメロディをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
9	12月11日	講義・演習	インサートエフェクトとセンドエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
10	12月18日	講義・演習	インサートエフェクトとセンドエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
11	1月15日	講義・演習	サイドチェインの使い方を学ぶ	サイドチェインを使ったオリジナルリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
12	1月22日	講義・演習	「編集グループ」と「ミックスグループ」の設定方法を学ぶ	フェーダーバランスだけでラフミックスをしておく。
13	2月5日	講義・演習	オートメーションの書き込みモード「write」「touchi」「latch」の3種類を学ぶ	オリジナル曲にオートメーション使ってアレンジに変化をつけてみる
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディとコード進行を作ってストックしておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナル

科目名	Gospel Ensemble A (1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月21日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月19日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月26日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月2日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月9日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月16日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月23日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月30日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月7日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月14日	講義・演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月25日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel Ensemble A (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月13日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月3日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月10日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月17日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月24日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	12月1日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月8日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月15日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月19日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月2日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel Ensemble B (1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月21日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月19日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月26日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月2日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月9日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月16日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月23日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月30日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月7日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月14日	講義・演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月25日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel Ensemble B (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月13日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月3日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月10日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月17日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月24日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	12月1日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月8日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月15日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月19日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月2日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Vocal Technique (1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	Gi-na
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	1998年ソロでメジャーデビュー。TM Revolution主演ミュージカル『Little shop of horrors 』や、ZIGGY、寺田恵子などのコーラスや歌詞提供。the Badassesのヴォーカル、ミュージカル歌唱指導も行なっている。						
授業の学習内容	歌の基本となる発声や姿勢、リズム感などを課題曲に合わせて指導していく。 細かいニュアンスや発音など、今までに歌ったことのない楽曲を知ることができ、 得意や苦手を知りテクニックを向上させてクオリティーを上げる。 新しい自分への発見にもつながってほしい。						
到達目標	さまざまなタイプの楽曲を、個性を活かし歌唱、パフォーマンスできるようになり、 アーティストとしてのオリジナル制作、ライブパフォーマンスへと繋げていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業内容の説明、呼吸について理解することができる	
2	4月21日	講義・演習	ウォーミングアップ、発声(声の響き)を理解できる	復習、予習
3	5月12日	講義・演習	基本発声、声の響きを理解できる。	復習、予習
4	5月19日	講義・演習	課題曲1のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習、予習
5	5月26日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解できる。	復習、予習
6	6月2日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
7	6月9日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
8	6月16日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
9	6月23日	講義・演習	課題曲2のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習、予習
10	6月30日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
11	7月7日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
12	7月14日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
13	8月25日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
14	9月8日	講義・演習	イベントを通し人の前で歌うことを学ぶ	楽曲の復習
15	9月15日	講義・演習	イベントを通し人の前で歌うことを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			その日やった復習と予習	

【使用教科書・教材・参考書】

授業専用のノート、筆記用具、マイク。

科目名	Vocal Technique (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	GI-na
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	1998年ソロでメジャーデビュー。TM Revolution主演ミュージカル『Little shop of horrors 』や、ZIGGY、寺田恵子などのコーラスや歌詞提供。the Badassesのヴォーカル、ミュージカル歌唱指導も行なっている。						
授業の学習内容	歌の基本となる発声や姿勢、リズム感などを課題曲に合わせて指導していく。 前期で取得したテクニックを活かし細かいニュアンスや発音など、今までに歌ったことのない楽曲を知ることができ、 得意や苦手を知りテクニックを向上させてクオリティーを上げる。新しい自分への発見にもつながってほしい。						
到達目標	さまざまなタイプの楽曲を、個性を活かし歌唱、パフォーマンスできるようになり、 アーティストとしてのオリジナル制作、ライブパフォーマンスへと繋げていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲3の提示、アナライズで歌詞を理解できる	復習　予習
2	10月13日	講義・演習	課題曲3のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習　予習
3	10月20日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
4	10月27日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
5	11月3日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
6	11月10日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
7	11月17日	講義・演習	課題曲4の提示、アナライズで歌詞を理解できる	復習　予習
8	11月24日	講義・演習	課題曲4のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習　予習
9	12月1日	講義・演習	課題曲4のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
10	12月8日	講義・演習	課題曲4のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
11	12月15日	講義・演習	課題曲4のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
12	1月19日	講義・演習	課題曲の中から選択、テストに向けてMC込みのリハができる	復習　予習
13	2月2日	講義・演習	選択した曲でのパフォーマンスができる	復習　予習
14	2月9日	講義・演習	イベントを通し人の前でテクニックを活かし歌うことを学ぶ	楽曲の復習
15	2月16日	講義・演習	イベントを通し人の前でテクニックを活かし歌うことを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

授業専用のノート、筆記用具、マイク。

科目名	Dance For Singers(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演　他						
授業の学習内容	①アーティストとしてのステージング力を身につけ、表現力を高める為。 ②「歌いながら踊る」為の身体作り・表 現力を高めステージ等で活かせる。 ③自分の身体を理解し、質の高いアーティストを目指して欲しい。 ④身体のつくり・使い方・ステージングに必要なステップ・ポージングを説明し、 それがどの様に必要でステージに活かせるのかを実践しながら進めていきます。						
到達目標	動いていても確実に歌い切れる身体作り。ステージングに必要なリズム・ステップ・ポージングが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業の進め方の説明・理解・と目標を立てる。	目標を決める。
2	4月24日	講義・演習	ストレッチ・筋トレの説明。	授業内でやった事を復習。覚える。
3	5月8日	講義・演習	ストレッチ・筋トレの説明。	授業内でやった事を復習。覚える。
4	5月15日	講義・演習	アイソレーションの説明。	実際に体を動かしてやった事を覚えさせる。
5	5月22日	講義・演習	アップ・ダウンのリズムを取る。	リズムキープ。アップダウンの切り替えの意識。
6	5月29日	講義・演習	ツーステップ・フォーコーナーの習得。	リズムキープ。骨盤がしっかりと回せているか確認。
7	6月5日	講義・演習	シャムロックの習得。	体重移動の確認、足の裏をしっかり使う様に意識する。
8	6月12日	講義・演習	チャールストンの習得。	足のインアウトを再度確認。上半身のリズムキープ。
9	6月19日	講義・演習	バドプレの習得。	足の運びを再度確認。上半身と繋げる意識。
10	7月3日	講義・演習	ポージングの習得。	どの様にポーズを取れば自分が綺麗に見えるか考える。
11	7月10日	講義・演習	5週目からのステップを使った振付け開始。	注意する所の再確認、苦手なステップの強化。
12	7月17日	講義・演習	振付けの追加。練習。	自分が納得いくまで練習。
13	8月21日	講義・演習	実技テスト。	自分に足りない所を見つめ直し後期に活かせる様にする。
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
15	9月11日	講義・演習	イベントを通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
準備学習　時間外学習			YouTubeでダンスについて観る。触れる。授業内で感じた事などをノート等に書き残しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

シューズ・タオル

科目名	Dance For Singers(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演　他						
授業の学習内容	①アーティストとしてのステージング力を身につけ、表現力を高める為。 ②「歌いながら踊る」為の身体作り・表 現力を高めステージ等で活かせる。 ③自分の身体を理解し、質の高いアーティストを目指して欲しい。 ④身体のつくり・使い方・ステージングに必要なステップ・ポージングを説明し、 それがどの様に必要でステージに活かせるのかを実践しながら進めていきます。						
到達目標	動いていても確実に歌いきれる身体作り、ステージングに必要なスキルを身につけ、実際のステージで実用する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ストレッチ・筋トレによる身体の強化。	前期で学んだ事も意識しながら後習。
2	10月16日	講義・演習	前期で学んだステップの応用。	復習、苦手な所の強化。
3	10月30日	講義・演習	前期で学んだステップ・ポージングの応用。	復習、苦手な所の強化、体のラインを綺麗に魅せる意識。
4	11月6日	講義・演習	2週目からの学んだ事を取り入れた振付け開始。	クリアに踊る意識、復習。
5	11月13日	講義・演習	振付けの追加・動画撮影に向け構成を考える。	動画映えする為にはどの様な構成が良いか考える。
6	11月20日	講義・演習	踊り込み、構成の修正。	4・5週目の課題を取り入れ作品のブラシアップ。
7	11月27日	講義・演習	2週目からの作品の発表・動画撮影・フィードバック。	フィードバックをまとめ次に活かせる様に考える。
8	12月4日	講義・演習	進級に向け、テスト課題の振付け開始。	クリアに踊る意識、復習。
9	12月11日	講義・演習	8週目からの振付け確認・追加。	振付け確認、踊り込み。
10	12月18日	講義・演習	構成を付け、作品について考える。	作品をどの様に表現したいか考える。
11	1月15日	講義・演習	構成の修正・踊り込み。	作品の表現をより深める、ブラシアップ。
12	1月22日	講義・演習	再度作品ついて確認。テストに向け練習。	これまで学んだ事を活かせているか確認。
13	2月5日	講義・演習	実技テスト。	今の自分を見つめる。今後更に何が出来るのか考える。
14	2月12日	講義・演習	イベントを通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
15	2月19日	講義・演習	イベントを通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
準備学習　時間外学習			YouTube等でダンスについて観る。触れる。授業内で感じた事などをノート等に書き残しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

シューズ・タオル

科目名	Piano Duo A(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	吉田華奈 加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	吉田華奈：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 加藤エレナ：幅広いジャンルのサポートキーボーディストとして活躍。海外ミュージシャンのツアーにも多数参加。						
授業の学習内容	ピアノとボーカルのアンサンブル						
到達目標	ピアノとボーカルのアンサンブルの向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
2	5月13日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
3	5月20日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
4	5月27日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
5	6月3日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
6	6月10日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
7	6月17日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
8	6月24日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
9	7月1日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
10	7月8日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
11	7月15日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
12	7月22日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
13	8月26日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う
準備学習　時間外学習			歌詞の暗記、歌唱練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo A(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	吉田華奈 加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	吉田華奈：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 加藤エレナ：幅広いジャンルのサポートキーボーディストとして活躍。海外ミュージシャンのツアーにも多数参加。						
授業の学習内容	ピアノとボーカルのアンサンブル						
到達目標	ピアノとボーカルのアンサンブルの向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
2	10月21日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
3	10月28日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
4	11月4日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
5	11月11日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
6	11月18日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
7	11月25日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
8	12月2日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
9	12月9日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
10	12月16日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
11	1月13日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
12	1月20日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
13	2月3日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う
準備学習　時間外学習			歌詞の暗記、歌唱練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo B(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	橋元美沙：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 田中ひなの：幼少期よりクラシックピアノを学び、ミュージシャン、作編曲家として活動。						
授業の学習内容	ピアノとボーカルのアンサンブル						
到達目標	ピアノとボーカルのアンサンブルの向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
2	5月13日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
3	5月20日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
4	5月27日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
5	6月3日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
6	6月10日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
7	6月17日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
8	6月24日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
9	7月1日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
10	7月8日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
11	7月15日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
12	7月22日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
13	8月26日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う
準備学習　時間外学習			歌詞の暗記、歌唱練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo B(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	橋元美沙：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 田中ひなの：幼少期よりクラシックピアノを学び、ミュージシャン、作編曲家として活動。						
授業の学習内容	ピアノとボーカルのアンサンブル						
到達目標	ピアノとボーカルのアンサンブルの向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
2	10月21日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
3	10月28日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
4	11月4日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
5	11月11日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
6	11月18日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
7	11月25日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
8	12月2日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
9	12月9日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
10	12月16日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
11	1月13日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
12	1月20日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
13	2月3日	講義・演習	実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック	課題曲の復讐
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う
準備学習　時間外学習			歌詞の暗記、歌唱練習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	JazzDance(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	寺本藍
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」」→主に、ジャズダンスの基礎となるバレエ・コンテンポラリー・テーマパークなど。 ③「学生にどうなって欲しいか」(講師の思い)」→身体の使い方をしっかり理解し表現出来き、怪我をしない上質な身体を作って下さい。						
到達目標	身体の作りを覚え（骨、筋肉など）、どの様にして動いていて踊りや表現のどの動きに必要なのかを覚える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業の進め方の説明。目標の確認。	自分の目標を決める。
2	5月7日	講義・演習	ジャズダンスがどの様なものか、動画を参考に説明と身体の作り（骨、筋肉）の説明。	授業で見た参考動画以外に動画を探しさらにイメージを膨らます。
3	5月14日	講義・演習	身体の作りの説明の続きとどの様な動きかを説明。姿勢の矯正。	姿勢矯正で学んだ事を、常に実践出来る様に意識する。
4	5月21日	講義・演習	3週目に説明した動きがダンスの何に必要か実際動かして確認。	実際に体を動かし学んだことを身体に覚えさせる。
5	5月28日	講義・演習	ターン、ピルエットの説明、練習開始。	首のきり方の練習。パッセの高さをキープ出来るようにする。
6	6月4日	講義・演習	ターンの回る回数を増やし、ピルエットは安定を目指す。	首のきり方+アームスの使い方の練習。
7	6月11日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	動きの順番、繋がりを覚える。
8	6月18日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習。	繰り返し練習。主に首のきり方タイミングが音楽に合っているかの確認。
9	6月25日	講義・演習	プリエ、タンジュ、ロンデの説明と実践。	引き上げたお腹が落ちない様にする。足の甲・膝裏が伸びているか、体幹キープ出来ているか確認。
10	7月2日	講義・演習	グランバットマン説明と実践。	体幹をキープし足を上げる練習。足先をポイント意識。
11	7月9日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け開始。	注意された所の直しと強化。
12	7月16日	講義・演習	実技テストの課題練習。	自分の中で満足いくまで練習を重ねる。
13	8月27日	講義・演習	実技テスト。	足りなかったことを見つめ直し、次に活かせる様まとめる。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
準備学習　時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	JazzDance(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	寺本藍
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」」→主に、ジャズダンスの基礎となるバレエ・コンテンポラリー・テーマパークなど。 ③「学生にどうなって欲しいか」(講師の思い）」→自分の身体を理解し、しっかり身体を使え表現出来る質の高いパフォーマーを目指して欲しい。						
到達目標	前期で学習し覚えた事を必ず実践し、自分の踊り身体について良いところ、足りないところを毎回考える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化。（腹筋）	ストレッチ・腹筋を意識した筋トレ。
2	10月15日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化。（背筋）	ストレッチ・背筋を意識した筋トレ。
3	10月22日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化。（腕、肩甲骨まわり）	ストレッチ・腕、肩甲骨周りを意識した筋トレ。
4	10月29日	講義・演習	3週で学んだ筋力を取り入れた振り付け開始。（スローの曲を使い一つ一つの動きを確認）	必要な筋力を使い踊れているか確認と練習。
5	11月5日	講義・演習	振付けの追加。正しい動きを出来ているか確認。	ジャズに必要な手足の先の美しさ柔らかさも出来ているか確認。
6	11月12日	講義・演習	振りの踊り込み。	4.5週目の課題を取り入れ踊り込み。
7	11月19日	講義・演習	4週目からの振付けの発表。フィードバック。	フィードバックをまとめ次に活かせることを考える。
8	11月26日	講義・演習	進級に向け、テスト課題開始。前期から学んだことを取り入れた振付け。	振りを覚える＋学んできた事を活かせているか確認し練習。
9	12月3日	講義・演習	8週目の振りの確認と振り付けの追加。	追加分の振付を固める。
10	12月10日	講義・演習	振りの意味を説明し、構成を付け作品について考える。	曲をよく聞き、どの様に表現するかを考える。
11	12月17日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる。（表現力も意識出来る様に調整）	踊りのスキルにプラス表現力も出せる様にイメージする。
12	1月14日	講義・演習	実技テストの課題練習。	踊り込み。（反復練習）
13	1月21日	講義・演習	実技テスト。	テストをして今の自分を考える。これからさらに何ができるかなど。
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出。
準備学習　時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Group Vocal(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる 。 その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス（フォーメーション）、パフォーマンス、マインドを学ぶ。						
到達目標	まずは歌いながら踊ること、人前で発表することに慣れる。チームで1曲を作り上げるコミュニケーションを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業の説明、課題曲1発表	課題曲準備
2	4月24日	講義・演習	課題曲1、歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
3	5月8日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
4	5月15日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
5	5月22日	講義・演習	クラス内発表、課題曲2、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
6	5月29日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
7	6月5日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
8	6月12日	講義・演習	クラス内発表、課題曲3、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
9	6月19日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
10	7月3日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
11	7月10日	講義・演習	クラス内発表、課題曲4、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
12	7月17日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
13	8月21日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
14	8月28日	講義・演習	クラス内発表、イベント練習	イベントに向けての練習
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。	イベントに向けての練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Group Vocal(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる 。 その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス（フォーメーション）、パフォーマンス、マインドを学ぶ。						
到達目標	まずは歌いながら踊ること、人前で発表することに慣れる。チームで1曲を作り上げるコミュニケーションを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	課題曲5、歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
2	10月16日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
3	10月30日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
4	11月6日	講義・演習	クラス内発表、課題曲6、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
5	11月13日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
6	11月20日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
7	11月27日	講義・演習	クラス内発表、課題曲7、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
8	12月4日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
9	12月11日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
10	12月18日	講義・演習	クラス内発表、課題曲8、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
11	1月15日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
12	1月22日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
13	2月5日	講義・演習	クラス内発表、イベント練習	イベントに向けての練習
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。	イベントに向けての練習
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。	イベントに向けての練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Digital Foundation (1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎 若狭　洋佑
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。（レタッチ中心） Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。（ベジェ曲線操作、デザイン中心） デザイン性のある入稿用データ作成ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	macの基本操作、Teamsの利用方法、Keynoteの基本操作理解、自己紹介資料を作成する	【事前動画説明】macの基本操作方法、Teamsの利用方法、Keynoteの機能説明と基本操作方法
2	4月21日	講義・演習	ワードとエクセルの基本操作理解。ワード（ビジネス文章）/エクセル(タイムテーブル)提出	【事前動画説明】画面収録の方法、Word（文書作成）、Excel（表の作成、表計算）の操作方法
3	5月12日	講義・演習	PhotoshopとIllustratorの違いを理解する。【Ai】【Ps】基本操作（ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡縮、新規作成、保存）	【事前動画説明】AdobeCCログイン方法、PhotoshopとIllustratorのワークスペース、ツールバー、パレットなど基本操作方法
4	5月19日	講義・演習	【Ai】基本操作：選択、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化	【事前動画説明】Aiを使用して作れるものの紹介、操作方法
5	5月26日	講義・演習	【Ps】基本操作：画像切り抜き、レタッチ、写真補正	【事前動画説明】Psを使用して作れるものの紹介、操作方法
6	6月2日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、作成例を観察、トレンドやデザイン性について考える	【事前動画説明】ミニポスター作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、ロゴ作成、入稿用データ作成、デザインのトレンドについて
7	6月9日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、仕上げ、提出	同上
8	6月16日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、作成例を観察、魅力的なグッズとは何か考える□	【事前動画説明】グッズデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、魅力的なグッズとはなにか
9	6月23日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
10	6月30日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレット課題作成、作成例を観察、多くの情報を整理整頓することに慣れ、美しいデザインを作成する	【事前動画説明】パンフレットデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、情報を整理整頓する
11	7月7日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成	同上
12	7月14日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
13	8月25日	講義・演習	到達度テスト	【事前動画説明】前期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			定期的にメディアを通じて雑誌のデザイン、グッズデザインなどを見て自分の好みをよく考える	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,Keynote,Microsoft office,Teams,Adobeアプリケーション

科目名	Digital Foundation (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎 若狭　洋佑
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	広告代理店、映像制作会社での実務経験						
授業の学習内容	昨今の社会において、デジタルコンテンツを制作・発信する能力は欠かせないものである。 この科目の受講者自身にはデジタルポートフォリオを所持してもらい、自身の活動をPRする映像を制作・発信する。 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	履修者全員が動画制作をできるようになる。 STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ（web）の運営ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。（アニメーション作成・エフェクト適用中心） Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。（カット編集中心） YouTubeに投稿した動画をポートフォリオに掲載して他者に共有できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。	【事前動画説明】STUDIOのアカウント作成～基本操作方法
2	10月13日	講義・演習	【STUDIO】ポートフォリオサイトを仕上げる。提出	同上
3	10月20日	講義・演習	【Pr】Premiereで出来ることを知る。Prの基本操作理解：新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、書き出し	【事前動画説明】Prを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～編集～動画書き出しまで)
4	10月27日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題①　ショート動画作成：カット編集、字幕入力、音楽、書き出し、提出	同上
5	11月3日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題②　Vlog作成：カット編集、字幕入力、音楽、色調補正、書き出し、提出	Vlogに使う動画を撮影してくる
6	11月10日	講義・演習	【Ae】AfterEffectsで出来ることを知る。Aeの基本操作理解：新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、素材の読み込み、エフェクト追加、書き出し	【事前動画説明】Aeを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～アニメ作成～動画書き出しまで)
7	11月17日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題①　キーフレームアニメ作成：素材読み込み、キャラクターアニメーション作成、提出	【事前動画説明】Aeでのキーフレームアニメの作り方、テキストアニメの作り方
8	11月24日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題②　リリックビデオ作成：プリセットを使ったテキストアニメ作成、提出	同上
9	12月1日	講義・演習	【YouTube】YouTubeに動画を投稿する。【STUDIO】ポートフォリオに動画を掲載する。	【事前動画説明】YouTubeへの投稿方法、STUDIOでポートフォリオに動画を掲載する方法
10	12月8日	講義・演習	最終課題選定。自己アピール動画のテーマを選定し映像構成をする。アイデア出しから制作までの手順を理解し、完成させる。	【事前動画説明】最終課題の参考映像を紹介。アイデア出しから制作までの手順を解説。
11	12月15日	講義・演習	個人制作	同上
12	1月19日	講義・演習	個人制作	同上
13	2月2日	講義・演習	個人制作と最終課題の提出(ポートフォリオに制作した動画を掲載する)　到達度テスト	【事前動画説明】後期で習得したスキルを一通り復習する。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			動画コンテンツに触れて、面白い映像表現、どんな編集をしているか観察しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,Teams,STUDIO,Adobeアプリケーション

科目名	BasicKeyboard(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	キーボードを演奏するための基礎と知識を学ぶ。学ぶ事により発声練習、弾き歌い、作編曲、音楽理論の理解度を上げる事ができ、より自由度の高い音楽性や表現方法に役立ててほしい授業です。						
到達目標	・初心者は譜面の読み書き、簡単な曲やコード進行を両手で弾ける様になる。音楽理論の理解度が深まること。 ・経験者は演奏技術、アレンジメントの向上を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。	指番号、音名、音符について予習、復習。
2	4月25日	講義・演習	クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。	授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。
3	5月9日	講義・演習	ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。	音程の感覚を復習、練習。
4	5月16日	講義・演習	M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
5	5月23日	講義・演習	Ⅰ―Ⅳ―Ⅴ―Ⅰ、Ⅰ―Ⅴ―Ⅳ―Ⅰ、Ⅳ―Ⅰ―Ⅴ―Ⅰ、Ⅴ―Ⅰ―Ⅳ―Ⅰ	T、SD,Dの機能を復習、練習。
6	5月30日	講義・演習	7th、Ⅱm―Ⅴ7―Ⅰ、Ⅰ―Ⅳ―Ⅱm―Ⅴ7―Ⅰの動きを学ぶ。	音の動き（Ⅱ,Ⅴ,Ⅰ）の感覚を復習、練習。
7	6月6日	講義・演習	Ⅵm、ⅥMが入ったコードワークを学ぶ。	ⅠとⅥmの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
8	6月13日	講義・演習	Ⅲm、ⅢMが入ったコードワークを学ぶ。	ⅠとⅢmの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
9	6月20日	講義・演習	4和音について学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
10	7月4日	講義・演習	m7♭5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
11	7月11日	講義・演習	sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
12	7月18日	講義・演習	作曲、メロディ、リズムの仕組みについて学ぶ。	復習と予習。
13	8月22日	講義・演習	作編曲の実践。	イベントの準備。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	BasicKeyboard(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	基礎知識、演奏力をもとに応用力をつけていき、発声練習、弾き歌い、作編曲、音楽理論の理解度を深め、 より自由度の高い音楽性や表現方法に役立ててほしい授業です。						
到達目標	表現力へ結びつく技術や知識を学び、より応用力を高めた演奏する事ができる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	トライアドコードの転回形と7thコードのボイシングについて。	復習、転回形での練習。
2	10月10日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、転回形での練習。
3	10月17日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、パラディドル練習。
4	10月31日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
5	11月7日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディを歌い練習してみる。
6	11月14日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション。	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
7	11月21日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
8	11月28日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディを歌い練習してみる。
9	12月5日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック。	復習、曲を聞いて練習。
10	12月12日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
11	12月19日	講義・演習	伴奏の実践。ハーモニー、リズム、表現方法。	伴奏する事で得た体感をまとめ復習、予習をする。
12	1月16日	講義・演習	コードアレンジメントについて。発展方法。	復習をし、考察してみる。
13	1月23日	講義・演習	作編曲の実践。	イベントの準備。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	韓国語(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	盧貞愛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業（韓国語教員資格2級取得）						
授業の学習内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。 仕事の関係で韓国のメディアと触れ合う機械が増えると思い、 韓国語を身に付ける事と韓国文化を味わう事で韓流を詳しく理解するのに役に立つと思っています。 教科書を用いて講義、韓国語について基礎知識と韓国の文化を学ぶ。 日常生活のカタコトフレーズや基本フレーズを学ぶ。						
到達目標	1. ハングル文字の読み書きができる。 2. ネイティブ発音・イントネーションでなめらかな話ができる。 3. 打ち解けた言葉で話すことができる。 4. 時計を読む、物を数えることができる。 5. 可能や不可能の表現ができる。 6. 尊敬語で話すことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	韓国語の紹介、ハングルの基本母音・基本子音を学ぶ。	文字の書く練習
2	5月7日	講義・演習	基本子音、激音・濃音の区別、挨拶ができる。	第3章挨拶P80/81
3	5月14日	講義・演習	合成母音・パッチム、自己紹介、自分の名前を書く。	第3章P82/83　自己紹介の練習
4	5月21日	講義・演習	(文法)Lesson1名詞です。 発音のルールを理解する。	第3章返事P84/85　第2章家族単語暗記、職業、国
5	5月28日	講義・演習	Lesson2　疑問文ができる。	第3章お礼P86第2章食事単語暗記
6	6月4日	講義・演習	Lesson3　否定することができる。韓国の文化を理解する。	指示代名詞の練習・暗記
7	6月11日	講義・演習	Lesson4　否定の疑問文でやり取りする。	第3章P87
8	6月18日	講義・演習	Lesson5　存在を言う、物・建物の位置を言う。	位置を尋ねる練習、第2章場所単語、会話①暗記
9	6月25日	講義・演習	Lesson6　存在を否定することができる。	会話文の暗記
10	7月2日	講義・演習	Lesson7/8　丁寧語で話す。 スムニダ体で話す。	第2章動詞の暗記、 助詞 「을/를」発音練習
11	7月9日	講義・演習	Lesson9　ヨ体へ活用ができる。	第4章第1課・2課・3課
12	7月16日	講義・演習	テスト：筆記試験・会話試験。	レポート提出
13	8月27日	講義・演習	韓国の文化を理解する。	
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ。	前期に学んだ内容の復習を行う
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ。	前期に学んだ内容の復習を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

KO　韓国語初歩の初歩、KO 韓国語［文法］トレーニング、できる韓国語初級Ⅰ

科目名	韓国語(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	盧貞愛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業（韓国語教員資格2級取得）						
授業の学習内容	教科書を用いて講義、韓国語について基礎知識と韓国の文化を学ぶ。 日常生活のカタコトフレーズや基本フレーズを学ぶ。						
到達目標	1. ハングル文字の読み書きができる。 2. ネイティブ発音・イントネーションでなめらかな話ができる。 3. 打ち解けた言葉で話すことができる。 4. 時計を読む、物を数えることができる。 5. 可能や不可能の表現ができる。 6. 尊敬語で話すことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	Lesson10　数字を読む（漢数詞）、会話文②暗記。	第2章P72/75　漢数詞の読む練習、プレゼントで練習
2	10月15日	講義・演習	Lesson11　値段や曜日を尋ねる。	第3章謝罪P88　　買い物の練習
3	10月22日	講義・演習	Lesson12　固有数字で数える、時計を読む。	第3章P89　第2章P73/74　プリントで練習、私の一日
4	10月29日	講義・演習	Lesson13　打ち解けた言葉で話す。する動詞のヘヨ体。	第3章P90第2章P64/65 動詞暗記、「ヘヨ体」の活用
5	11月5日	講義・演習	Lesson14　打ち解けた言葉で話す。　ヘヨ体で言う。	第3章P91第4章第5/6課、第2章P68/69形容詞暗記
6	11月12日	講義・演習	Lesson15　動詞・形容詞の否定表現、会話文③暗記。	第3章P92　しないことを言う　第2章動詞②暗記
7	11月19日	講義・演習	Lesson16　不可能なことを話す。	出来ないことを言う、第2章形容詞②暗記
8	11月26日	講義・演習	Lesson17　過去の出来事を言う。　する動詞。	過去形ノ活用練習
9	12月3日	講義・演習	Lesson18　過去の出来事を言う。	活用シート完成・練習
10	12月10日	講義・演習	Lesson19　過去形の否定表現で言う。	第4章第9課
11	12月17日	講義・演習	Lesson20　尊敬語で言う。	活用シート完成・練習
12	1月14日	講義・演習	テスト：筆記試験、会話試験。	レポート提出
13	1月21日	講義・演習	まとめ、韓国の文化。	復習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ。	後期に学んだ内容の復習を行う
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ。	後期に学んだ内容の復習を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

KO　韓国語初歩の初歩、KO 韓国語［文法］トレーニング、できる韓国語初級Ⅰ

科目名	作詞基礎(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	甲斐健児
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	芸能プロダクションや専門学校にて学生や研究生を対象に作詞を担当。日本音楽著作権協会準会員						
授業の学習内容	作詞において最も重要な基本理念・コンセプトについての意識を高めさせながら、 作詞の基礎テクニックや様々な表現方法を、実例を挙げながら展開する。						
到達目標	コンセプト作りや様々な表現方法を、理解し実践することができるようになる。 作詞の基本理念と基礎テクニックを、理解し実践することができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	基本理念（作詞コンセプト）について理解できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
2	4月25日	講義・演習	曲構成について理解できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
3	5月9日	講義・演習	比喩について理解し、表現できる□	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
4	5月16日	講義・演習	韻を踏むについて理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
5	5月23日	講義・演習	体言止めについて理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
6	5月30日	講義・演習	倒置法について理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
7	6月6日	講義・演習	対句について理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
8	6月13日	講義・演習	擬人法について理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
9	6月20日	講義・演習	ネーミング法と台詞のテクニックを実践できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
10	7月4日	講義・演習	作詞先行型について理解できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
11	7月11日	講義・演習	リフレインのテクニックについて理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
12	7月18日	講義・演習	効果的なタイトルの付け方について理解できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
13	8月22日	講義・演習	いま一度“キャッチー”について理解を深めることができる	課題：作詞
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ（1）	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ(2)	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける
準備学習　時間外学習			表現力、コンセプトの実践を通し、プロとして求められる詞の制作過程と表現を確認とする	

【使用教科書・教材・参考書】

自著参考書

科目名	作詞基礎(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	甲斐健児
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	芸能プロダクションや専門学校にて学生や研究生を対象に作詞を担当。日本音楽著作権協会準会員						
授業の学習内容	作詞において最も重要な基本理念・コンセプトについての意識を高めさせながら、 作詞の基礎テクニックや様々な表現方法を、実例を挙げながら展開する。						
到達目標	コンセプト作りや様々な表現方法を、理解し実践することができるようになる。 作詞の基本理念と基礎テクニックを、理解し実践することができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	コピーライター的才能について理解できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
2	10月10日	講義・演習	諧謔精神を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
3	10月17日	講義・演習	ほかの物事、スポーツ等の専門用語を利用して詞を作る	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
4	10月31日	講義・演習	逆転の発想について理解できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
5	11月7日	講義・演習	矛盾した言葉の組み合わせによる表現を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
6	11月14日	講義・演習	Wミィーンズという表現への理解を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
7	11月21日	講義・演習	言葉のニュアンス印象を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
8	11月28日	講義・演習	テクノロジーの変化による詞の世界の変化を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
9	12月5日	講義・演習	具体的で細かな表現方法を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
10	12月12日	講義・演習	詞の流行と普遍性を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
11	12月19日	講義・演習	詞を映像として理解し、表現できる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
12	1月16日	講義・演習	聴き手側に思考を与えることができる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
13	1月23日	講義・演習	一年のまとめ	課題：作詞
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ（1）	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ(2)	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける
準備学習　時間外学習			聴講による理解の到達度と表現力を確認し、新たな課題を求めた作詞制作をする	

【使用教科書・教材・参考書】

自著参考書

科目名	Expression A(3) VT(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	事前課題曲練習
2	4月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
3	5月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
4	5月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	5月26日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	6月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
11	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
12	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
13	8月25日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。						
授業の学習内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに, アプローチのバリエーションとトレーニングを行い, オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	5月13日	講義・演習	B Bossa(1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	5月20日	講義・演習	B Bossa(2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	5月27日	講義・演習	TeeUp(1) コンピングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	6月3日	講義・演習	TeeUp(2) ウォーキングベースとのコンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	6月10日	講義・演習	greater love(1) ペンタトニック・アプローチ	I-IV7-bVII-VI7-II7-V(key=Bb) 進行でソロ練習
7	6月17日	講義・演習	greater love(2) ディミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
8	6月24日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
9	7月1日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
10	7月8日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペンタトニック	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
11	7月15日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペンタトニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	7月22日	講義・演習	Dolphin ST(1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	8月26日	講義・演習	Dolphin ST(2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間(30分~)で練習する	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。 多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーヴのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	4月25日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	5月9日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	5月16日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	5月23日	講義・演習	セカンダリードミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	5月30日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	6月6日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	6月13日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	6月20日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	7月4日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	7月11日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	7月18日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	8月22日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(3) Dr Control Theory(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用および各ルーディメンツの応用。 ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロールし、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	シングルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	4月21日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	5月12日	講義・演習	シングルパラディドルコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	5月19日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	5月26日	講義・演習	トリプルパラディドルコンビネーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月2日	講義・演習	演習・ダブルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月9日	講義・演習	トリプルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	6月16日	講義・演習	フラムダブルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	6月23日	講義・演習	フラムトリプルパラディドルバリエーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	6月30日	講義・演習	2拍3連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月7日	講義・演習	2拍3連メトリックモジュレーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	7月14日	講義・演習	4拍3連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月25日	講義・演習	4拍3連メトリックモジュレーションの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」

科目名	Expression A(3) Key Play Tech(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。基礎的な練習を反復する事により、現場において様々な演奏アプローチを「思いつく」能力の習得を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	4月21日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	5月12日	講義・演習	課題曲1の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	5月19日	講義・演習	課題曲1の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	5月26日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	6月2日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	6月9日	講義・演習	課題曲2の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	6月16日	講義・演習	課題曲2の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	6月23日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	6月30日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	7月7日	講義・演習	課題曲3の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	7月14日	講義・演習	課題曲3の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業前・授業内で配布する譜面・音源等。

科目名	Expression A(4) VT(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	潤豊 橋元美沙 吉田華奈
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
3	10月28日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
4	11月4日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
5	11月11日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
6	11月18日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
7	11月25日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
8	12月2日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
9	12月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
10	12月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	発声練習及び課題曲練習
11	1月13日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月20日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月3日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング（個人面談なども有）、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月10日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月17日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(4) Gt Melodic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう。						
授業の学習内容	様々なジャンルでよく使用されるコード進行(7曲)のアナライズを行い，コードにあった音の選択を実践、 ソロ・アプローチのバリエーションを増やす。						
到達目標	モードスケール、アディショナルスケールの構造を理解し、各スケールのシェイプを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	1n Samba(1) インナーボイスの半音進行	iii-bIII7-ii-bII7b5(key=Bb)進行でソロ練習
2	10月21日	講義・演習	1n Samba(2) チェンジの練習	ii-bIIb5-iii(key=Bb)進行でソロ練習
3	10月28日	講義・演習	Boiled chicken(1) 7thコードでの切り替え：ペンタトニックベース	I7-IV7(key=Bb)進行でソロ練習
4	11月4日	講義・演習	Boiled chicken(2) 7thコードでの切り替え：ミクソリディアンベース	maj7#11バンプ進行で練習
5	11月11日	講義・演習	Spring Leaves(1) 1キーアプローチ	ii-V-I-IV(key=G)進行でソロ練習
6	11月18日	講義・演習	Spring Leaves(2) 各コードブロックのアプローチ	ii-bIII7-ii-bII7(key=C)進行でソロ練習
7	11月25日	講義・演習	No Chase(1) Jazz Bluesでの基本アプローチ	12小節ブルース進行(key=F)進行でソロ練習
8	12月2日	講義・演習	No Chase(2) ターンアラウンドのバリエーション	iii-VI7-ii-V(key=F)進行でソロ練習
9	12月9日	講義・演習	Wild Flow リディアン／ドリアンでのモードアプローチ	[3/4] Imaj7#11-bVIIm7(key=Bb)進行でソロ練習
10	12月16日	講義・演習	Sake and Horses(1) コンビネーションdimスケール	V7b5b9-V9-i(key=Gm)進行でソロ練習
11	1月13日	講義・演習	Sake and Horses(2) モーダル・インターチェンジ	I-bVII7(key=F)進行でソロ練習
12	1月20日	講義・演習	Small Steps(1) 連続するV-Iキーチェンジのアプローチ	V-I(key=G,Eb,B)進行でソロ練習
13	2月3日	講義・演習	Small Steps(2) 3度進行へのアプローチ	ii-V-I(key=Eb,G,B)進行でソロ練習
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			毎日決まった時間(30分~)でパターン練習、アドリブ練習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

資料は授業内で配布。iPhone/iPadなどで閲覧し注釈を加えます。

科目名	Expression A(4) Bass Line Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。 多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々な代理コードやテンションの概念や機能を理解し、適正なフレージングで演奏出来るようになること。 2、アドリブによるバッキングやベースソロを演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	代理コードの構成音の類似性を理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	10月10日	講義・演習	裏コードとパッシングディミニッシュの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	10月17日	講義・演習	モーダルインターチェンジその他の代理コードの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	10月31日	講義・演習	ウォーキングベースの手法とコンセプトを理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月7日	講義・演習	ウォーキングベースの様々なアプローチを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月14日	講義・演習	ヴォイスリーディングの手法を理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	11月21日	講義・演習	ワンコーラスのウォーキングベースラインを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	11月28日	講義・演習	メロディとそのリズム、モチーフの重要性について理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月5日	講義・演習	ワンコードのベースソロのフレージングを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	12月12日	講義・演習	コードトーンやテンションを意識したフレージングを意識し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	12月19日	講義・演習	コード進行の分析とソロのコピーの手法を習得し、実践する。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月16日	講義・演習	練習曲に対してベースラインとソロを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月23日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression A(4) Dr Control Theory(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。						
授業の学習内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツの応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	3拍4連応用の習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月13日	講義・演習	ハイブリッドルーディメンツの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月20日	講義・演習	サンバオスティナートベーシックの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	10月27日	講義・演習	サンバオスティナートの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月3日	講義・演習	ソンクラーベオスティナートの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月10日	講義・演習	ルンバクラーベオスティナートの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月17日	講義・演習	クラーベオスティナートの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	11月24日	講義・演習	リニアエクササイズベーシックの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月1日	講義・演習	リニアエクササイズの応用	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月8日	講義・演習	リニアエクササイズ実践パターンの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	12月15日	講義・演習	ダブルベースドラミングの習得	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月19日	講義・演習	総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	2月2日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して総合アンサンブルを学ぶ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」

科目名	Expression A(4) Key Play Tech(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。						
到達目標	前期で学んだ技能を応用する。音色の選択・編集を含めて、与えられた楽曲に対して、職業音楽家としての現場においてどのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
2	10月13日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
3	10月20日	講義・演習	課題曲4の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
4	10月27日	講義・演習	課題曲4の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
5	11月3日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
6	11月10日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
7	11月17日	講義・演習	課題曲5の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
8	11月24日	講義・演習	課題曲5の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
9	12月1日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	指定URLからの資料のダウンロード等。
10	12月8日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
11	12月15日	講義・演習	課題曲6の練習。	授業内容の復習と予告内容の予習。
12	1月19日	講義・演習	課題曲6の練習・確認。	授業内容の復習と予告内容の予習。
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習　時間外学習			課題曲に使う音色ごとの演奏方法を考えて予習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業前・授業内で配布する譜面・音源等。

科目名	Expression B(3) Vocal Reading(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	潤豊 ・ 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを1年次よりも更に深く学び、個々の活動の可能性の幅を広げていく。						
到達目標	1年次の内容を理解した上で、更に高度なリズムの理解とメロディ歌唱を出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)リズム・メロディ・コードの聴きとり。	予習・復習など
2	4月21日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。リズム・メロディ・コードの聴きとり。	予習・復習など
3	5月12日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して歌う。メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーで歌唱。	予習・復習など
4	5月19日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して歌う。メロディ歌唱→細かいリズムのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーで歌唱。	予習・復習など
5	5月26日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。メロディ歌唱→シンコペーションのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーで歌唱。	予習・復習など
6	6月2日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。メロディ歌唱→シンコペーションのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディ・コードの	予習・復習など
7	6月9日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。メロディ歌唱→シンコペーションのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディ・コードの	予習・復習など
8	6月16日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。メロディ歌唱→シンコペーションのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディ・コードの	予習・復習など
9	6月23日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。メロディ歌唱→シンコペーションのメロディを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディ・コードの聴きとり。	予習・復習など
10	6月30日	講義・演習	前期テスト範囲発表。復習など。	テスト勉強
11	7月7日	講義・演習	後期テスト。	テスト勉強
12	7月14日	講義・演習	後期テスト予備日。	予習・復習など
13	8月25日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。メロディ歌唱→シンコペーションのメロディを歌う。色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。	予習・復習など
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

バークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。□

科目名	Expression B(3) Gt Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギター・プレイヤー／インストラクターとして活動する一方で、ギター・マガジン誌をはじめとする音楽専門誌でギター奏法系の記事を多数担当。						
授業の学習内容	●様々な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ●本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの理解と、それを用いたエクササイズを通して、 多様なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。						
到達目標	●テンションを含むコード理論を学び、それを体系的に理解する。 ●テンション・コードを自在に操る思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	add9コードの考察と実践	add9フォームの予習と復習
2	4月21日	講義・演習	sus2コードの考察と実践	sus2フォームの予習と復習
3	5月12日	講義・演習	7th系テンション・コード：9th(1)	9thフォームの予習と復習
4	5月19日	講義・演習	同：9th(2)	9thフォームの予習と復習
5	5月26日	講義・演習	同：13th(1)	13thフォームの予習と復習
6	6月2日	講義・演習	同：13th(2)	13thフォームの予習と復習
7	6月9日	講義・演習	同：6th&9th(1)	6th&9thフォームの予習と復習
8	6月16日	講義・演習	同：6th&9th(2)	6th&9thフォームの予習と復習
9	6月23日	講義・演習	同：11th(1)	1thフォームの予習と復習
10	6月30日	講義・演習	同：11th(2)	1thフォームの予習と復習
11	7月7日	講義・演習	同：#11th(1)	#11thフォームの予習と復習
12	7月14日	講義・演習	同：#11th(2)	#11thフォームの予習と復習
13	8月25日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全テンション・フォームの復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習　時間外学習			リズム＆グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	

【使用教科書・教材・参考書】

H.C.2補足教材適宜

科目名	Expression B(3) Ba Groove Analyze(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	現代音楽を弾くためのリズムやベース・パートの成り立ちが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方法、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して各音符の長さや、記号、楽譜の読み取り、曲調など音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、リズムと楽器の成り立ちを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、扱う楽曲に対する理解力が上がることで、Jazz、Rock、Popsなどジャンル毎にフレーズや、ビート、音色などの使い分けができることが目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノヴァパターンを例題にて説明する。	Chapter25の復習とChapter26の予習
2	5月13日	講義・演習	ボサノヴァの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)。	Chapter26の復習とChapter27の予習
3	5月20日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバパターンを例題にて説明する。	Chapter27の復習とChapter28の予習
4	5月27日	講義・演習	サンバの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter28の復習とChapter29の予習
5	6月3日	講義・演習	ジャマイカ発祥のレゲェの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter29の復習とChapter30の予習
6	6月10日	講義・演習	レゲェの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter30の復習とChapter31の予習
7	6月17日	講義・演習	リズムの源流であるアフリカン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter31の復習とChapter32の予習
8	6月24日	講義・演習	6/8拍子のアフリカン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter32の復習とChapter33の予習
9	7月1日	講義・演習	キューバ発祥のアフロ・キューバン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter33の復習とChapter34の予習
10	7月8日	講義・演習	アフロ・キューバン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter34の復習とChapter35の予習
11	7月15日	講義・演習	ハードロックの原点のロックの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter35の復習とChapter36の予習
12	7月22日	講義・演習	クラッシック・ロックの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter36の復習とChapter37の予習
13	8月26日	講義・演習	ディスコ・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter37の復習とChapter38の予習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ	楽曲の復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player

科目名	Expression B(3) Dr Groove Making(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニック、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。						
到達目標	手足の連動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。 様々なエクササイズの反復によりトレーニングに向かう行動を習慣化させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	楽器構造(ドラムセット)と特有な記譜法の理解。8ビートとその歴史的背景を知る	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
2	4月25日	講義・演習	8ビートにおけるキックバリエーションの実践。スネアバックビートに関する理解。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
3	5月9日	講義・演習	8ビートにおける4Wayトレーニングの実践。メトロノームを使用した練習の紹介。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
4	5月16日	講義・演習	ハイハットワークの実践。ドラムの役割(アンサンブルスタンス)を理解する。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
5	5月23日	講義・演習	Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。ゴーストモーションに関する考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
6	5月30日	講義・演習	Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。ゴーストモーションに関する考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
7	6月6日	講義・演習	セットオーケストレーション:移動モーションの理解と実践。フィルインに関する考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
8	6月13日	講義・演習	Bブロックフォーム(両手16)での16ビートの実践。リード感覚に関する考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
9	6月20日	講義・演習	Cブロックフォーム(ミックス)での16ビートの実践。ゴーストノートに関する考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~7)
10	7月4日	講義・演習	Cブロックフォームでのグルーヴメイク;マイナスワン音源を使用したトレーニングの実施	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
11	7月11日	講義・演習	シャッフルビートの習得。リズム構造の理解とフィールの実践。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~5)
12	7月18日	講義・演習	トラディショナルスタイルの理解と実践。ハネ方のニュアンスに関する考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
13	8月22日	講義・演習	3連符に包括されたシャッフルフィールの実践。ゴーストノートのコントロール。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習　時間外学習			テキストでチャプター内で扱ったメインテーマの精度を高める	

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」

科目名	Expression B(3) Key Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	MIYAVI、柴崎コウ、指田郁哉など、幅広いジャンルのサポートキーボーディスト、シンガーソングライターとして活躍。ブルースピアニストとして海外ミュージシャンのレコーディング、ツアーに多数参加。企業やTVドキュメンタリーの楽曲を制作している。						
授業の学習内容	キーボーディスト、作編曲等において必要なハーモニーの知識と演奏技術を学び、様々なジャンルでのアプローチ方法やアンサンブル演奏、作曲、作編の中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	学習したハーモニー、スケールを使用して前期で学習したジャンルに適したフィールで、正確なタイムでアドリブを演奏する事ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	9th(＃、♭)コードについて。	プリントの復習と課題、コードワークが滑らかに演奏できるように練習。
2	5月7日	講義・演習	楽曲でのコードワーク	プリントの復習と課題、楽曲の中で滑らかに演奏できるように練習。次回の予習。
3	5月14日	講義・演習	11th(＃)コードについて。	プリントの復習と課題、コードワークが滑らかに演奏できるように練習。
4	5月21日	講義・演習	楽曲でのコードワーク	プリントの復習と課題、楽曲の中で滑らかに演奏できるように練習。次回の予習。
5	5月28日	講義・演習	13th(♭)コードについて。	プリントの復習と課題、コードワークが滑らかに演奏できるように練習。
6	6月4日	講義・演習	楽曲でのコードワーク	プリントの復習と課題、楽曲の中で滑らかに演奏できるように練習。
7	6月11日	講義・演習	リハーモナイゼーション1	プリントの復習と課題、滑らかに演奏できるように練習。
8	6月18日	講義・演習	リハーモナイゼーション2	プリントの復習と課題、滑らかに演奏できるように練習。次週の曲を聞く。
9	6月25日	講義・演習	Gospel musicのハーモニーとボイシングについて	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
10	7月2日	講義・演習	楽曲でのコードワーク	プリントの復習と課題、楽曲の中で滑らかに演奏できるように練習。
11	7月9日	講義・演習	Bass ラインについて、対位法	プリントの復習と課題、楽曲の中で滑らかに演奏できるように練習。
12	7月16日	講義・演習	楽曲での応用、演奏のフィールについて。	プリントの復習と課題、楽曲の中で滑らかに演奏できるように練習。
13	8月27日	講義・演習	課題曲の演奏発表、アドバイス	復習、応用力をつけるための練習、イベントの準備。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してライブで必要な応用力を学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してライブで必要な応用力を学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	Expression B(4) Vocal Reading(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	潤豊 ・ 田村涼々架
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを1年次よりも更に深く学び、個々の活動の可能性の幅を広げていく。						
到達目標	1年次の内容を理解した上で、更に高度なリズムの理解とメロディ歌唱を出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。 色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。	予習・復習など
2	10月13日	講義・演習	表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。 色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。	予習・復習など
3	10月20日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。	予習・復習など
4	10月27日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。	予習・復習など
5	11月3日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。	予習・復習など
6	11月10日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディ・コードの聴きとり。	予習・復習など
7	11月17日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディ・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など
8	11月24日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディ・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など
9	12月1日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。 メロディ歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディ・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	予習・復習など
10	12月8日	講義・演習	後期テスト範囲発表。復習。アカペラアンサンブル練習。	テスト勉強
11	12月15日	講義・演習	後期テスト。	テスト勉強
12	1月19日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。	アカペラアンサンブル練習
13	2月2日	講義・演習	アカペラ発表会。	予習・復習など
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	レポート
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

バークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。

科目名	Expression B(4) Gt Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギター・プレイヤー／インストラクターとして活動する一方で、ギター・マガジン誌をはじめとする音楽専門誌でギター奏法系の記事を多数担当。						
授業の学習内容	●様々な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ●本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの理解と、それを用いたエクササイズを通して、 多様なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。						
到達目標	●テンションを含むコード理論を学び、それを体系的に理解する。 ●テンション・コードを自在に操る思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(1)	altボイシングの予習と復習
2	10月21日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(2)	altボイシングの予習と復習
3	10月28日	講義・演習	Available Note ScaleとTensionの関連性(1)	各種スケールの予習と復習
4	11月4日	講義・演習	Available Note ScaleとTensionの関連性(2)	各種スケールの予習と復習
5	11月11日	講義・演習	Sec.D.を学ぶ（長調）	Sec.D.の予習と復習
6	11月18日	講義・演習	Minor keyの考察と実践	短調を構成する和音の予習と復習
7	11月25日	講義・演習	Sec.D.を学ぶ（短調）	Sec.D.の予習と復習
8	12月2日	講義・演習	Ⅱm7-Ⅴ7のボキャブラリーを開拓	Ⅱm7-Ⅴ7の予習と復習
9	12月9日	講義・演習	Ⅱm7(♭5)-Ⅴ7のボキャブラリーを開拓	Ⅱm7(♭5)-Ⅴ7の予習と復習
10	12月16日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(1)	モーダル・ハーモニーの予習と復習
11	1月13日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(2)	モーダル・ハーモニーの予習と復習
12	1月20日	講義・演習	ダブル・ストップの活用	各種複音の予習と復習
13	2月3日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全テンション・フォームの復習
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ	課題曲への実践アプローチ
準備学習　時間外学習			リズム＆グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	

【使用教科書・教材・参考書】

H.C.2補足教材適宜

科目名	Expression B(4) Ba Groove Analyze(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習内容	現代音楽を弾くためのリズムやベース・パートの成り立ちが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方法、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ディスコビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter38の復習とChapter39の予習
2	10月10日	講義・演習	リズム＆ブルースの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter39の復習とChapter40の予習
3	10月17日	講義・演習	リズム＆ブルースの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter40の復習とChapter41の予習
4	10月31日	講義・演習	モータウン・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter41の復習とChapter42の予習
5	11月7日	講義・演習	モータウン・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter42の復習とChapter43の予習
6	11月14日	講義・演習	ファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter43の復習とChapter44の予習
7	11月21日	講義・演習	初期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter44の復習とChapter45の予習
8	11月28日	講義・演習	中期のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter45の復習とChapter46の予習
9	12月5日	講義・演習	中期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter46の復習とChapter47の予習
10	12月12日	講義・演習	近代のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter47の復習とChapter48の予習
11	12月19日	講義・演習	近代のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter48の復習とChapter49の予習
12	1月16日	講義・演習	フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter49の復習とChapter50の予習
13	1月23日	講義・演習	フュージョンの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter50の復習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ	楽曲の復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してグルーヴを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player

科目名	Expression B(4) Dr Groove Making(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	第53回グラミー賞受賞琴演奏家「松山夕貴子」ツアーサポート・ドラマーを務め、MKDF関連アクト、 T-Earth (X Japan,Toshi)プロジェクトのレコーディングなど、多岐にわたる現場でハイブリッドなドラムプレイを展開。						
授業の学習内容	スタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーヴメイク出来る能力を身につける事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4ビートアプローチのための基礎理解	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
2	10月10日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4Wayコンビネーションのトレーニング	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
3	10月17日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。手足の連動性が複雑化したアドバンスアプローチ	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
4	10月31日	講義・演習	スタイルアナライズ(モータウンの歴史的背景、代表曲からのグルーヴ抽出)	参考曲の研究　Chapter42&43
5	11月7日	講義・演習	スタイルアナライズ(スネア. スリップが特徴的なファンクスタイルの実践)	参考曲の研究　Chapter44
6	11月14日	講義・演習	スタイルアナライズ(ニューオリンズ系の3:2型リズムモチーフを活かしたビートの実践)	参考曲の研究　Chapter45
7	11月21日	講義・演習	スタイルアナライズ(シンコペーション色が強いファンクスタイルの実践)	参考曲の研究　Chapter46
8	11月28日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(JB系のファンク)Chapter55	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
9	12月5日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(セカンドライン・フィールのロック)Chapter56	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
10	12月12日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(ストレート・フィールのファンク)Chapter57	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
11	12月19日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(バウンス・フィールのファンク)Chapter58	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
12	1月16日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(6/8フィールのファンク・ロック)Chapter59	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
13	1月23日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(ラテン・フィールのファンク)Chapter60	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する	リハーサルの消化とそれに伴う準備姿勢の樹立
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する	リハーサルの消化とそれに伴う準備姿勢の樹立
準備学習　時間外学習			マイナスワン音源や練習用リズムトラックを使用してアンサンブルに近い形でエクササイズをする	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Expression B(4) Key Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	MIYAVI、柴崎コウ、指田郁哉など、幅広いジャンルのサポートキーボーディスト、シンガーソングライターとして活躍。ブルースピアニストとして海外ミュージシャンのレコーディング、ツアーに多数参加。企業やTVドキュメンタリーの楽曲を制作している。						
授業の学習内容	前期の内容をふまえながら、更に演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。						
到達目標	学習した知識と応用力によって様々なジャンルを理解し、リードシートを見て演奏(アドリブ)ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	モーダル4thについて。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
2	10月15日	講義・演習	楽曲でのアドリブワーク。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
3	10月22日	講義・演習	リードシートの曲の掴み方と演奏方法。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
4	10月29日	講義・演習	楽曲でのコードワーク。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
5	11月5日	講義・演習	ラテンピアノについて。モントゥーノの演奏方法。	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
6	11月12日	講義・演習	楽曲でのコードワーク。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
7	11月19日	講義・演習	アフロビートについて。ポリリズムの考え方と演奏。	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
8	11月26日	講義・演習	楽曲でのコードワーク。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
9	12月3日	講義・演習	スパニッシュ、ジプシーサウンドについて。	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
10	12月10日	講義・演習	楽曲でのコードワーク。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
11	12月17日	講義・演習	コンテンポラリージャズについて。特徴と演奏方法。	プリントの復習と課題、コード進行の中でのアプローチが滑らか演奏できるように練習。予習。
12	1月14日	講義・演習	楽曲でのコードワーク1。	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
13	1月21日	講義・演習	楽曲でのコードワーク2。	プリントの復習と課題、リック、コード進行が滑らかに演奏できるように練習。課題曲を聞く。
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	気づきをまとめ次の本番に臨む。
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	本番後の振り返りをまとめ事後の成長へ繋げる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、五線紙又は五線紙がダウンロードされ書き込めるタブレット、筆記用具を持参する事。

科目名	SPL(3) SPL(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	セミプライベートレッスン。キーボード演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	キーボード演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
2	4月24日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
3	5月8日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
4	5月15日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
5	5月22日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
6	5月29日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
7	6月5日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
8	6月12日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
9	6月19日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
10	7月3日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
11	7月10日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
12	7月17日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
13	8月21日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ	基礎トレーニング
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習			基礎トレーニング	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	SPL(3) Instrumental Study(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う口						
授業の学習 内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。 ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
2	4月24日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
3	5月8日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
4	5月15日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
5	5月22日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
6	5月29日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
7	6月5日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
8	6月12日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
9	6月19日	講義・演習	運指練習、リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)	基礎トレーニング
10	7月3日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
11	7月10日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
12	7月17日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
13	8月21日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	基礎トレーニング
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ。	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習			基礎トレーニング	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	SPL(4) SPL(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして、さまざまなアーティストのライブやレコーディングに参加。2004年からキーボード講師としても活動している。						
授業の学習内容	セミプライベートレッスン。キーボード演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	キーボード演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
2	10月16日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
3	10月30日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
4	11月6日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
5	11月13日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
6	11月20日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
7	11月27日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
8	12月4日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
9	12月11日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
10	12月18日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
11	1月15日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
12	1月22日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
13	2月5日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ	基礎トレーニング
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習			基礎トレーニング	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	SPL(4) Instrumental Study(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う口						
授業の学習 内容	セミプライベートレッスン。ギター演奏に関わる基礎能力の向上のためのトレーニングと、各学生からの質問のも対応。 ほかの授業で把握し切れなかった部分の補足など。						
到達目標	ギター演奏における課題を自主的に発見し、クリアする。能力の向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
2	10月16日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
3	10月30日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
4	11月6日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
5	11月13日	講義・演習	リズムトレーニング、音楽理論(スケールなど)、質問	基礎トレーニング
6	11月20日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
7	11月27日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
8	12月4日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
9	12月11日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
10	12月18日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
11	1月15日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
12	1月22日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
13	2月5日	講義・演習	応用トレーニング、質問	基礎トレーニング
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ	基礎トレーニング
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して本番で必要なスキルを学ぶ	基礎トレーニング
準備学習　時間外学習			基礎トレーニング	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Dr Playing Tech(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	乙部ヒロ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	1991年に北朝鮮でのピースコンサートに参加。様々なサポートバンドなどで活動中。						
授業の学習内容	ドラムのスキルアップ（テクニック）、ライブなどでの大切な心得（ハート）、アンサンブル力（合奏力）、リーディング（譜面読み）、反応の速さ（アドリブ、コンピング）の更なる強化が目的です。						
到達目標	①演奏力の強化:演奏力によって自己の表現と、音楽演奏における表現力をつける。②適応力の強化:様々なリズム、フレーズを知ることによってより多くの種類の音楽的なジャンルを叩き分けることができる。③反応力の強化:様々なパルスやグルーヴなど音を聞き分けて、その時その時でベストで柔軟な対応を選択出来るようになる。④読譜力の強化:譜面をしっかり読めることにより、構成の間違いや音符の取り間違いを防ぐ。また、相手と合わせなくてはならない箇所を、常に把握し確認出来るようにする。⑤判断力の強化:とっさのことでミスが生じたり、展開の長さが乱れたりしたときに、取り乱さずに冷静に演奏を下のレールに戻せるようになる。また、とっさにアドリブを入れてみたり…常に変化に対応出来るようにする。⑥協調性の強化:常に自分本位でなく、聞き手の皆さんに心地よい音楽を提供できるように、周囲のメンバーの音に常に気をつけながら演奏できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	オリエンテーション、セットバランス3点（色付きテキスト）シンコペーションチャートをアクセントチャートとしてさまざまな16分音符をセットに落とし込むリーディング方法	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
2	4月25日	講義・演習	引き続きセットバランス3点（色付きテキスト）シンコペーションチャートをアクセントチャートとしてさまざまな16分音符をセットに落とし込むリーディング方法を指導します。また最	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
3	5月9日	講義・演習	「速く叩けるようになるためのSD基礎」テキストを使用し、まずSDでアクセントの打ち分け、その後セットに落とし込むリーディング方法のレクチャーをします。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
4	5月16日	講義・演習	「フラム応用メゾット」テキストを使用し、装飾符のフラムをフレーズやリズムパターンに応用できるようにレクチャーします。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
5	5月23日	講義・演習	「ある変拍子の楽曲」テキストを使用し、変拍子のFUNKサウンドについて、グルーブや楽曲へのアプローチ方法。変拍子の楽曲	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
6	5月30日	講義・演習	「ポリリズミックサジェスチョン（1）」テキストを使用し、4拍3連系のポリリズムを使用し、6/8系のビートにアプローチ。フレーズとして応用する実践的な方法を伝授。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
7	6月6日	講義・演習	「ポリリズミックサジェスチョン（1）」を使用し、4拍3連系のポリリズムを使用し、6/8系のビートにアプローチ。6/8の楽曲を使用してフレーズとして応用する実践的な方法を伝	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
8	6月13日	講義・演習	「6/8系のビート」テキストを使用、6/8系のビートについて。特にリズムパターンからグルービングについて基礎的なことからさらに応用させる方法をレクチャーします。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
9	6月20日	講義・演習	「UP CLOSE」（1）テキストを使用し、ルーディメントをドラムセットに落とし込むユニークな応用方法を紹介します。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
10	7月4日	講義・演習	引き続き「UP CLOSE」（2）テキストを使用し、ルーディメントをドラムセットに落とし込むユニークな応用方法を紹介します。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
11	7月11日	講義・演習	トリプレット読み／シンコペーションチャートを利用して、JAZZやSHUFFLE 、SWINGなどの跳ねるリズムのグルーブの基礎となる3連符をリーディングできるようにする。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
12	7月18日	講義・演習	パラディドル読み／シンコペーションチャートを利用して、主にリズムの8系のビート、16系のビートにしっかり対応ができるように、リーディングできるようにする。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
13	8月22日	講義・演習	テスト（未定）。	初見演奏してもらう予定です。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ。	課題曲の予習復習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ。	課題曲の予習復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ドラムセット2～3台、クリック、テキスト、パーカス

科目名	Dr Playing Tech(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	乙部ヒロ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1991年に北朝鮮でのピースコンサートに参加。様々なサポートバンドなどで活動中。						
授業の学習内容	ドラムのスキルアップ(テクニック)、ライブなどでの大切な心得(ハート)、アンサンブル力(合奏力)、リーディング(譜面読み)、反応の速さ(アドリブ、コンピング)の更なる強化が目的です。						
到達目標	①演奏力の強化:演奏力によって自己の表現と、音楽演奏における表現力をつける。②適応力の強化:様々なリズム、フレーズを知ることによってより多くの種類の音楽的なジャンルを叩き分けることができる。③反応力の強化:様々なパルスやグルーヴなど音を聞き分けて、その時その時でベストで柔軟な対応を選択出来るようになる。④読譜力の強化:譜面をしっかり読めることにより、構成の間違いや音符の取り間違いを防ぐ。また、相手と合わせなくてはならない箇所を、常に把握し確認出来るようにする。⑤判断力の強化:とっさのことでミスが生じたり、展開の長さが乱れたりしたときに、取り乱さずに冷静に演奏を下のレールに戻せるようになる。また、とっさにアドリブを入れてみたり…常に変化に対応出来るようにする。⑥協調性の強化:常に自分本位でなく、聞き手の皆さんに心地よい音楽を提供できるように、周囲のメンバーの音に常に気をつけながら演奏できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	「メトリックモジュレーション」テキストを使用し、リズムを調律する方法をレクチャーします。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
2	10月10日	講義・演習	両手を使って演奏する16ビートの奏法、オルタネイト奏法。右手と左手を使ってアクセント打ち分け。キックとのコンビネーションで様々なグルーブ感を出せるようになる。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
3	10月17日	講義・演習	両手を使って演奏する16ビートの奏法、オルタネイト奏法。右手と左手を使ってアクセント打ち分け。キックとのコンビネーションで様々なグルーブ感を出せるようになる。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
4	10月31日	講義・演習	両手を使って演奏する16ビートの奏法、オルタネイト奏法。HHのオープンオフのアクセントを打ち分け。キックとのコンビネーションで様々なグルーブ感を出す。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
5	11月7日	講義・演習	両手を使って演奏する16ビートの奏法、オルタネイト奏法。HHのオープンオフのアクセントを打ち分け。キックとのコンビネーションで様々なグルーブ感を出す。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
6	11月14日	講義・演習	ゴスペルチョップ基礎編(1)最近流行最先端のドラム奏法、「ゴスペルチョップ」の叩き方、コツをレクチャーする。アプローチの仕方が出来るようにする。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
7	11月21日	講義・演習	ゴスペルチョップの叩き方。パラディドルを使って右手左手とキックの様々なコンビネーションを叩くことによって四肢のバランスを良くしてリズム的体幹を鍛える。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
8	11月28日	講義・演習	「ゴスペルチョップ」の叩き方。パラディドルを使って右手左手とキックの様々なコンビネーションを叩くことによって四肢のバランスを良くしてリズム的体幹を鍛える。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
9	12月5日	講義・演習	「シャッフルビート応用編」を使用し、さまざまなタイプのシャッフルビートの応用の仕方をレクチャー。主にハイハットとベースドラムでグルーブ感が出せるようにします。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
10	12月12日	講義・演習	アップテンポのハーフタイムシャッフルビートをレクチャーします。ボーディドリースタイルのニューオーリンズグルーブ感も交えたスタイリッシュなビートを学びます。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
11	12月19日	講義・演習	ポリリズミックサジェスチョン、様々な拍子のポリリズミックなアプローチをレクチャーします。普通に楽曲でも使えるフレーズでリズム的な体幹も鍛えられます。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
12	1月16日	講義・演習	「ドラム体幹強化テキスト」を使用し、一つの1小節リズムをさまざまなリズムに変換しながら、リズム的な体幹を鍛える方法をレクチャーします。	ほぼ毎回、譜面を渡して初見リーディング、初見演奏してもらいます。その際授業時間内に内容のすべてを読めなくても構わないので、必ず持ち帰って復習すること。
13	1月23日	講義・演習	テスト(未定)。	soloパフォーマンスをしてもらいます。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ。	課題曲の予習復習。
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ。	課題曲の予習復習。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ドラムセット2～3台、クリック、テキスト、パーカス

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのプロデュース，ライブサポート，レコーディングなど。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of earth（1）	課題曲各 パートの予習
2	4月25日	講義・演習	2 of earth（2）	課題曲各 パートの予習
3	5月9日	講義・演習	The Jugglers(1)	課題曲各 パートの予習
4	5月16日	講義・演習	The Jugglers(2)	課題曲各 パートの予習
5	5月23日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各 パートの予習
6	5月30日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各 パートの予習
7	6月6日	講義・演習	Thinking(1)	課題曲各 パートの予習
8	6月13日	講義・演習	Thinking(2)	課題曲各 パートの予習
9	6月20日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各 パートの予習
10	7月4日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各 パートの予習
11	7月11日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各 パートの予習
12	7月18日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各 パートの予習
13	8月22日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各 パートの予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の 予習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の 予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのプロデュース，ライブサポート，レコーディングなど。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Goin’ on(1)	課題曲各 パートの予習
2	10月10日	講義・演習	Goin’ on(2)	課題曲各 パートの予習
3	10月17日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各 パートの予習
4	10月31日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各 パートの予習
5	11月7日	講義・演習	Cosmic Girl(1)	課題曲各 パートの予習
6	11月14日	講義・演習	Cosmic Girl(2)	課題曲各 パートの予習
7	11月21日	講義・演習	That X’mas(1)	課題曲各 パートの予習
8	11月28日	講義・演習	That X’mas(2)	課題曲各 パートの予習
9	12月5日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各 パートの予習
10	12月12日	講義・演習	Golden(1)	課題曲各 パートの予習
11	12月19日	講義・演習	Golden(2)	課題曲各 パートの予習
12	1月16日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各 パートの予習
13	1月23日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各 パートの予習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の 予習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の 予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのプロデュース，ライブサポート，レコーディングなど。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of earth（1）	課題曲各 パートの予習
2	4月25日	講義・演習	2 of earth（2）	課題曲各 パートの予習
3	5月9日	講義・演習	The Jugglers(1)	課題曲各 パートの予習
4	5月16日	講義・演習	The Jugglers(2)	課題曲各 パートの予習
5	5月23日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各 パートの予習
6	5月30日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各 パートの予習
7	6月6日	講義・演習	Thinking(1)	課題曲各 パートの予習
8	6月13日	講義・演習	Thinking(2)	課題曲各 パートの予習
9	6月20日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各 パートの予習
10	7月4日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各 パートの予習
11	7月11日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各 パートの予習
12	7月18日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各 パートの予習
13	8月22日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各 パートの予習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の 予習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の 予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのプロデュース，ライブサポート，レコーディングなど。						
授業の学習内容	Neo Soul,Funk曲を4リズム（Dr,Bass,Guitar,Key）+ボーカルでアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど，コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり，グルーブを主体とする楽曲(歌あり)を中心に，アンサンブル能力，セッション能力，パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Goin’ on(1)	課題曲各 パートの予習
2	10月10日	講義・演習	Goin’ on(2)	課題曲各 パートの予習
3	10月17日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各 パートの予習
4	10月31日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各 パートの予習
5	11月7日	講義・演習	Cosmic Girl(1)	課題曲各 パートの予習
6	11月14日	講義・演習	Cosmic Girl(2)	課題曲各 パートの予習
7	11月21日	講義・演習	That X’mas(1)	課題曲各 パートの予習
8	11月28日	講義・演習	That X’mas(2)	課題曲各 パートの予習
9	12月5日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各 パートの予習
10	12月12日	講義・演習	Golden(1)	課題曲各 パートの予習
11	12月19日	講義・演習	Golden(2)	課題曲各 パートの予習
12	1月16日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各 パートの予習
13	1月23日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各 パートの予習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の 予習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の 予習
準備学習　時間外学習			課題曲の練習、見直し、次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Hot Pop Band Ensemble A(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷斉 近藤 寿
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	ボーカルや楽器プレイヤー同士、人と人だけでなく音でコミュニケーションが取れる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	プレイヤーとしての心得や視点を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	5月7日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月14日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月21日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月28日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	6月4日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月11日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月18日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月25日	講義・演習	邦楽と洋楽の演奏におけるアプローチの違いを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月2日	講義・演習	洋楽におけるリズムアプローチを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月9日	講義・演習	音楽のコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	7月16日	講義・演習	セッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月27日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してプレイヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Hot Pop Band Ensemble A(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷斉 近藤 寿
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	より実践的な環境で、仕事に即戦力となれるレベルに辿り着く事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イヤーモニターを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月15日	講義・演習	クリックと演奏の位置関係やバランスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月22日	講義・演習	録音のプレイバックを聴きギャップを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	10月29日	講義・演習	楽曲やジャンルにおける音色を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月5日	講義・演習	ソロやフェイクの構築方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月12日	講義・演習	ソリストとしてのメンタルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月19日	講義・演習	アコースティック楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月26日	講義・演習	EDMを意識した楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月3日	講義・演習	SNSを意識した発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月10日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月17日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月14日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月21日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Hot Pop Band Ensemble B(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷　斉 近藤 寿
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	ボーカルや楽器プレイヤー同士、人と人だけでなく音でコミュニケーションが取れる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	プレイヤーとしての心得や視点を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	5月7日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月14日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月21日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月28日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	6月4日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月11日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月18日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月25日	講義・演習	邦楽と洋楽の演奏におけるアプローチの違いを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月2日	講義・演習	洋楽におけるリズムアプローチを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月9日	講義・演習	音楽のコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	7月16日	講義・演習	セッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月27日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してプレイヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Hot Pop Band Ensemble B(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷斉 近藤 寿
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	現在流行の楽曲やポップス音楽の中でスタンダード言われる楽曲を使って、 より実践に近い形でアンサンブル体験をする授業。						
到達目標	より実践的な環境で、仕事に即戦力となれるレベルに辿り着く事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	イヤーモニターを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月15日	講義・演習	クリックと演奏の位置関係やバランスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月22日	講義・演習	録音のプレイバックを聴きギャップを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	10月29日	講義・演習	楽曲やジャンルにおける音色を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月5日	講義・演習	ソロやフェイクの構築方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月12日	講義・演習	ソリストとしてのメンタルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月19日	講義・演習	アコースティック楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月26日	講義・演習	EDMを意識した楽曲を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月3日	講義・演習	SNSを意識した発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月10日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月17日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月14日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月21日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Jazz Fusion Ensemble(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	廣瀬：数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう 能村：Musicians Institute, Hollywoodへ留学。首席で卒業。インストラクター、ライブ、レコーディング、幅広い活動をしている。						
授業の学習内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲の4リズム・アンサンブル						
到達目標	バッキング、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	Put It W-1	課題曲の予習
2	5月7日	講義・演習	Put It W-2	課題曲の予習
3	5月14日	講義・演習	So bad-1	課題曲の予習
4	5月21日	講義・演習	So bad-2	課題曲の予習
5	5月28日	講義・演習	Paneima-1	課題曲の予習
6	6月4日	講義・演習	Paneima-2	課題曲の予習
7	6月11日	講義・演習	Handprint-1	課題曲の予習
8	6月18日	講義・演習	Handprint-2	課題曲の予習
9	6月25日	講義・演習	Fried Chicken-1	課題曲の予習
10	7月2日	講義・演習	Fried Chicken-2	課題曲の予習
11	7月9日	講義・演習	Sudden S-1	課題曲の予習
12	7月16日	講義・演習	Sudden S-2	課題曲の予習
13	8月27日	講義・演習	前期課題の中から実演試験を行う。	課題曲の予習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習			次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Jazz Fusion Ensemble(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	廣瀬：数々のアーティスト、ライブ、レコーディングなどにギタリストとして参加。アーティストのプロデュースもおこなう 能村：Musicians Institute, Hollywoodへ留学。首席で卒業。インストラクター、ライブ、レコーディング、幅広い活動をしている。						
授業の学習内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル						
到達目標	バッキング、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	R335-1	課題曲の予習
2	10月15日	講義・演習	R335-2	課題曲の予習
3	10月22日	講義・演習	Tom Lee-1	課題曲の予習
4	10月29日	講義・演習	Tom Lee-2	課題曲の予習
5	11月5日	講義・演習	We areオーディション	課題曲の予習
6	11月12日	講義・演習	C Island-1	課題曲の予習
7	11月19日	講義・演習	C Island-2	課題曲の予習
8	11月26日	講義・演習	JC of AM-1	課題曲の予習
9	12月3日	講義・演習	JC of AM-2	課題曲の予習
10	12月10日	講義・演習	Rainy-1	課題曲の予習
11	12月17日	講義・演習	Rainy-2	課題曲の予習
12	1月14日	講義・演習	Like Feel-2、認定テスト	課題曲の予習
13	1月21日	講義・演習	Like Feel-2、認定テスト	課題曲の予習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してソロを学ぶ	イベント曲の予習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習			次の週の課題曲の予習をする	

【使用教科書・教材・参考書】

追加資料、次週の資料などをPDFで配布するため、iPad・iPhoneなどを持ってきてください。

科目名	Inst Ensemble(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋：1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。						
授業の学習内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル)を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション（アイコンタクトなど）やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。						
到達目標	インストゥルメンタル（楽器のみ）の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢（コミュニケーションなど）とスタンダードなリズム、フィール（ジャンル）を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week1の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
2	5月13日	講義・演習	簡単なコード進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week1配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week2の予習。
3	5月20日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week2の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
4	5月27日	講義・演習	12小節ブルース進行でストレート8ビート。解説と演習をする。	Week2配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week3の予習。
5	6月3日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week3の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
6	6月10日	講義・演習	12小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week3配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week4の予習。
7	6月17日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week4の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
8	6月24日	講義・演習	8小節ブルース進行でスウィング8ビート。解説と演習をする。	Week4配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week5の予習。
9	7月1日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week5の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
10	7月8日	講義・演習	シンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week5配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week6の予習。
11	7月15日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week6の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
12	7月22日	講義・演習	分数コードとシンコペーションをテーマにしたストレート8ビート。解説と演習をする。	Week6配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week7の予習。
13	8月26日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする。	Week7の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習　時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料・音源

科目名	Inst Ensemble(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 高橋和久
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	遠藤：幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘とも数多くのレコーディングに参加。 高橋：1983年にX-RAYでメジャー・デビュー。その後、様々なアーティストと数々のセッションを重ねる。						
授業の学習内容	スタンダードなサンプル曲を通して基本的なビートとフィール(ジャンル）を体感し、アンサンブルにおけるコミュニケーション（アイコンタクトなど）やハプニングなどへの対処法を教授する。またコード進行をアナライズすることによりスケールへの理解を深め、ソロに対する自己研究課題へ繋げることを促す。						
到達目標	インストゥルメンタル（楽器のみ）の演奏することでアンサンブルの基本的な姿勢（コミュニケーションなど）とスタンダードなリズム、フィール（ジャンル）を習得する事を目的とする。 他の楽器を聴き分ける力や即興演奏力を身に付けることにより、楽曲に対する幅広い対応力を得ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	簡単なコード進行でレゲェ・フィールを解説と演習をする。	Week7配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week8の予習。
2	10月21日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール（R&B)の解説と演習をする。	Week8の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
3	10月28日	講義・演習	簡単なコード進行でトリプレット・フィール（R&B)の解説と演習をする。	Week8配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week9の予習。
4	11月4日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート。解説と演習をする。	Week9の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
5	11月11日	講義・演習	12小節マイナーブルース進行の8ビート。解説と演習をする。	Week9配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week10の予習。
6	11月18日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート。解説と演習をする。	Week10の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
7	11月25日	講義・演習	簡単なリフを使用した3コードの8ビート。解説と演習をする。	Week10配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week11の予習。
8	12月2日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック。解説と演習をする。	Week11の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
9	12月9日	講義・演習	ユニゾンフレーズが入っているポピュラー・ロック。解説と演習をする。	Week11配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week12の予習。
10	12月16日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week12の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
11	1月13日	講義・演習	カントリー・ミュージックをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week12配布音源にて練習と未達成箇所の復習。 Week13の予習。
12	1月20日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week13の配布音源にて練習と未達成箇所の復習
13	2月3日	講義・演習	ブラジリアン・ミュージックのボサノバをベースにした簡単なコード進行。解説と演習をする。	Week13配布音源にて練習と未達成箇所の復習。
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習。
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習。
準備学習　時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料・音源

科目名	BIGBAND(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷斉 坂東邦宣
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。						
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	大編成の中で演奏し体験する	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	4月26日	講義・演習	テンポ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	5月10日	講義・演習	リズム感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	5月17日	講義・演習	メロディ感を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	5月24日	講義・演習	人と人のコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	5月31日	講義・演習	音でのコミュニケーション方法を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	6月7日	講義・演習	コード理論（ダイアトニック）を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	6月14日	講義・演習	コード理論（ノンダイアトニック）を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	6月21日	講義・演習	スケールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	7月5日	講義・演習	コードから作れるフレーズを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	7月12日	講義・演習	楽曲の構成組み立てを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	8月23日	講義・演習	アドリブやセッションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	8月30日	講義・演習	前期全ての要素を取り入れた実践学習□	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通してプレイヤーの責任を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してスタッフとのコミュニケーションを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	BIGBAND(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷斉 坂東邦宣
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	石戸谷：CM やドラマ、映画などのレコーディングに参加。数多くのコンサートサポートも務める。 坂東：サックスプレイヤー。ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォーンコンクール特別賞受賞。クラシックをベースに様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	さまざまなジャンルの音楽を通して、技術に留まらず、音楽の歴史や、アンサンブル力、協調性、団体行動など音楽を生業にしていく為の全ての要素を体験する授業。						
到達目標	音楽のジャンルやさまざまな編成に対して柔軟に対応できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	アンサンブルを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
2	10月11日	講義・演習	指揮の見方読み取り方を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
3	10月18日	講義・演習	グルーブを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
4	11月1日	講義・演習	グルーブを自ら演奏し発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
5	11月8日	講義・演習	演奏におけるコールアンドレスポンスを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
6	11月15日	講義・演習	コールアンドレスポンスの自発的な発信力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
7	11月22日	講義・演習	クラシック音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
8	11月29日	講義・演習	Jazz音楽の歴史を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
9	12月6日	講義・演習	映画音楽を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
10	12月13日	講義・演習	一つのショーとしての楽曲の構成力や流れを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
11	12月20日	講義・演習	客席を意識したパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
12	1月17日	講義・演習	バンド全体のプロデュース力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
13	1月24日	講義・演習	本番前、本番中のメンタルコントロールを学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス力を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して成功体験を学ぶ	楽曲の聴き込み、譜読み、練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel EnsembleA (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月21日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月19日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月26日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月2日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月9日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月16日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月23日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月30日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月7日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月14日	講義・演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月25日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel EnsembleA (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月13日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月3日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月10日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月17日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月24日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	12月1日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月8日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月15日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月19日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月2日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel EnsembleB (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月21日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月19日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月26日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月2日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月9日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月16日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月23日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月30日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月7日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月14日	講義・演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月25日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Gospel EnsembleB (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画する NYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月13日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月3日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月10日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月17日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月24日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	12月1日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月8日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月15日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月19日	講義・演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月2日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Broadway Seminar(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	斉藤早春
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。auやアクエリアスのCMレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演。ミュージカルなどの歌唱指導も担当						
授業の学習内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する、体感する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業内容と目的の説明、ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの予習
2	4月21日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、感情の開放ゲーム	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
3	5月12日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
4	5月19日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム説明	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
5	5月26日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム発表	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ/ポエム
6	6月2日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
7	6月9日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカルを調べ発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク
8	6月16日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ポエム発表	曲復習/ポエム
9	6月23日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
10	6月30日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
11	7月7日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
12	7月14日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
13	8月25日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	9月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Broadway Seminar(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	斉藤早春
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。auやアクエリアスのCMレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演。ミュージカルなどの歌唱指導も担当						
授業の学習内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する、体感する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
2	10月13日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
3	10月20日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
4	10月27日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
5	11月3日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
6	11月10日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
7	11月17日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、グループ曲発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク/ポエム
8	11月24日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲のミュージカル、ポエム発表	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
9	12月1日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
10	12月8日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
11	12月15日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
12	1月19日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
13	2月2日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Repair Basic（3）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	志村昭三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	トランザムのギタリストとしてデビュー。後にダンカン・ギターのプロデュースやリペアマンの経験を経て、音楽学校の講師として後進の育成に努めると同時に、数多くのトップアーティストのギターテックとしてツアーやレコーディングに参加。						
授業の学習内容	リペアマンになる為の動作・対応力・技術力・センスを得る実技をおこなう						
到達目標	エレトリックギターやエレトリックベース等の音が出る仕組みを理解し、ギターサウンドナイキングやボディ形状やヘッド形状のデザインを行える技術を習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アッセンブリ・バラシ・組立について理解する	MY楽器及びリペア楽器持参
2	4月25日	講義・演習	アッセンブリ・バラシ・組立ての実践	MY楽器及びリペア楽器持参
3	5月9日	講義・演習	PV交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
4	5月16日	講義・演習	PV交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
5	5月23日	講義・演習	ポット交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
6	5月30日	講義・演習	ポット交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
7	6月6日	講義・演習	ジャック交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
8	6月13日	講義・演習	ジャック交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
9	6月20日	講義・演習	PG作業①	MY楽器及びリペア楽器持参
10	7月4日	講義・演習	PG作業②	MY楽器及びリペア楽器持参
11	7月11日	講義・演習	PG作業③	MY楽器及びリペア楽器持参
12	7月18日	講義・演習	PG作業④	MY楽器及びリペア楽器持参
13	8月22日	講義・演習	PG作業⑤/前期テスト	MY楽器及びリペア楽器持参
14	8月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ	レポート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演奏を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習			弦楽器の仕組みを知り、部品について学ぶ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Repair Basic（4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	志村昭三
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	トランザムのギタリストとしてデビュー。後にダンカン・ギターのプロデュースやリペアマンの経験を経て、音楽学校の講師として後進の育成に努めると同時に、数多くのトップアーティストのギターテックとしてツアーやレコーディングに参加。						
授業の学習内容	エレキギター・アコースティックギター・エレキベース、その他の弦楽器に対して何らかをほどこす事により、 よりよい状態にもっていくその技術とノウハウを学習する						
到達目標	リペアならびにセットアッパー・ギターテクニシャンになるためのスキルを身に付けさせ、自身の技術力を自分で引き上げてゆくやり方を理解させ応用してゆく追求心をつける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ナット交換の為の予備知識の理解	前期の復習
2	10月10日	講義・演習	フレット＆ネット交換①	MY楽器及びリペア楽器持参
3	10月17日	講義・演習	フレット＆ネット交換②	MY楽器及びリペア楽器持参
4	10月31日	講義・演習	フレット＆ネット交換③	MY楽器及びリペア楽器持参
5	11月7日	講義・演習	フレット＆ネット交換④	MY楽器及びリペア楽器持参
6	11月14日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑤	MY楽器及びリペア楽器持参
7	11月21日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑥	MY楽器及びリペア楽器持参
8	11月28日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑥	MY楽器及びリペア楽器持参
9	12月5日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑦	MY楽器及びリペア楽器持参
10	12月12日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑧	MY楽器及びリペア楽器持参
11	12月19日	講義・演習	フレット＆ネット交換⑨	MY楽器及びリペア楽器持参
12	1月16日	講義・演習	組み込み完了	MY楽器及びリペア楽器持参
13	1月23日	講義・演習	後期試験	MY楽器及びリペア楽器持参
14	1月30日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してリペアマンの現場を学ぶ	レポート
15	2月13日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してリペアマンの現場を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			前期で学んだ事を生かし、自分の持っている楽器をリペアしてみる	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Percussion(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	吉田開
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	東宝、宝塚歌劇団等、ミュージカル・ポップス系コンサート、レコーディング多数。リズム教育研究所 講師。□						
授業の学習内容	コンテンポラリーパーカッションの演奏法とリズムワークに関する知識を、ドラムセットも含めてレクチャー。 ドラムス・パーカッションがアンサンブルの中で担う役割を理解することで、さまざまなジャンルに対するアプローチの仕方を習得する。						
到達目標	パーカッションの基礎とリズムワークの基礎を通して、打楽器のコンテンポラリー演奏を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション　ポピュラーパーカッション概観	パーカッション使用曲のリスニングと分析
2	5月7日	講義・演習	ハンドパーカッション基礎　コンガの音色作り	奏法と音色の関係性の復習と分析
3	5月14日	講義・演習	コンガ演奏の基礎（トゥンバオ１）・小物Per基礎	デイリートレーニング（授業内指示）
4	5月21日	講義・演習	コンガ演奏とリズムワーク（トゥンバオ２）・小物Per基礎	デイリートレーニング（授業内指示）
5	5月28日	講義・演習	マルチPerセットでのライブ演奏 基礎①	楽曲把握・復習
6	6月4日	講義・演習	カホン演奏の基礎①（音色作り・8th feel）	デイリートレーニング（授業内指示）
7	6月11日	講義・演習	カホン演奏の基礎②	楽曲把握・復習
8	6月18日	講義・演習	ボンゴ演奏の基礎①（音色作り・トラディショナルパターン）	デイリートレーニング（授業内指示）
9	6月25日	講義・演習	ボンゴ演奏の基礎②（ポピュラー応用）	楽曲把握・復習
10	7月2日	講義・演習	ティンバレス演奏の基礎	デイリートレーニング（授業内指示）
11	7月9日	講義・演習	マルチPerセットでのライブ演奏 基礎②	課題曲準備
12	7月16日	講義・演習	課題曲演習	実践演奏の復習
13	8月27日	講義・演習	課題曲演習	実践演奏の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してリズムワークの基礎を学ぶ	イベント曲の予習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してリズムワークの基礎を学ぶ	イベント曲の予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Percussion(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	吉田開
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	東宝、宝塚歌劇団等、ミュージカル・ポップス系コンサート、レコーディング多数。リズム教育研究所 講師。□						
授業の学習内容	コンテンポラリーパーカッションの演奏法とリズムワークに関する知識を、ドラムセットも含めてレクチャー。 ドラムス・パーカッションがアンサンブルの中で担う役割を理解することで、さまざまなジャンルに対するアプローチの仕方を習得する。						
到達目標	パーカッションの基礎とリズムワークの基礎を通して、打楽器のコンテンポラリー演奏を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期内容復習	参考音源などの□視聴
2	10月15日	講義・演習	コンガ演奏の応用①（トラディショナルなラテングルーヴ）	楽曲リスニングとパターン分析
3	10月22日	講義・演習	コンガ演奏の応用②（Funk,Fusion,R&B）	デイリートレーニング（授業内指示）□
4	10月29日	講義・演習	小物Perの応用（課題曲練習）	デイリートレーニング（授業内指示）
5	11月5日	講義・演習	カホン演奏の応用①	デイリートレーニング（授業内指示）
6	11月12日	講義・演習	カホン演奏の応用②	デイリートレーニング（授業内指示）□
7	11月19日	講義・演習	キューバン・グルーヴ体験①	課題曲の分析
8	11月26日	講義・演習	キューバン・グルーヴ体験②	奏法の復習
9	12月3日	講義・演習	マルチPerセットでのライブ演奏 応用①	デイリートレーニング（授業内指示）□
10	12月10日	講義・演習	マルチPerセットでのライブ演奏 応用②	デイリートレーニング（授業内指示）□
11	12月17日	講義・演習	総合演習①	楽曲分析
12	1月14日	講義・演習	総合演習②	習得した奏法の復習
13	1月21日	講義・演習	イベント□実践を通してリズムワークの□基礎を学ぶ□	イベント□曲の予習
14	2月4日	講義・演習	イベント□実践を通してリズムワークの□基礎を学ぶ□	イベント□曲の予習
15	2月11日	講義・演習	イベント□実践を通してリズムワークの□基礎を学ぶ□	イベント□曲の予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	K-POP Dance(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演　他						
授業の学習内容	ダンスの基礎練習・身体の使い方を研究・怪我をしないためのストレッチ方法の学習						
到達目標	基礎を練習して身体の可動域を広げること・自分にしかできない表現力を磨き、自信をつけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介・目標設定・授業内容説明・基礎練習	得意なことを探す
2	5月7日	講義・演習	アイソレーションについて説明	前週の復習
3	5月14日	講義・演習	アイソレーション基礎練習	前週の復習
4	5月21日	講義・演習	アイソレーション基礎応用	前週の復習
5	5月28日	講義・演習	ステップ基礎練習	前週の復習
6	6月4日	講義・演習	ステップ基礎応用	前週の復習
7	6月11日	講義・演習	指先・足先にフォーカス　動線確認	前週の復習
8	6月18日	講義・演習	緩急について研究	前週の復習
9	6月25日	講義・演習	身体の使い方　確認	前週の復習
10	7月2日	講義・演習	個性を活かした表現の研究	前週の復習
11	7月9日	講義・演習	テスト内容　振り写し・練習	前週の復習
12	7月16日	講義・演習	テスト内容　振り写し・練習	前週の復習
13	8月27日	講義・演習	前期　実技テスト	テスト内容の練習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してフォーメーションを学ぶ	レポートの提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

シューズ・タオル・ドリンク

科目名	K-POP Dance(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演　他						
授業の学習内容	ダンスの基礎練習・身体の使い方を研究・怪我をしないためのストレッチ方法の学習						
到達目標	基礎を練習して身体の可動域を広げること・自分にしかできない表現力を磨き、自信をつけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	目標確認・前期の復習	目標の確認
2	10月15日	講義・演習	アイソレーション確認	前週の復習
3	10月22日	講義・演習	アイソレーションテクニック練習	前週の復習
4	10月29日	講義・演習	アイソレーションテクニック応用	前週の復習
5	11月5日	講義・演習	ステップテクニック練習	前週の復習
6	11月12日	講義・演習	ステップテクニック応用	前週の復習
7	11月19日	講義・演習	フロアテクニック練習	前週の復習
8	11月26日	講義・演習	フロアテクニック応用	前週の復習
9	12月3日	講義・演習	身体の角度にフォーカス　練習	前週の復習
10	12月10日	講義・演習	自分だけのダンススタイルを築く	前週の復習
11	12月17日	講義・演習	テスト内容　振り写し・練習	前週の復習
12	1月14日	講義・演習	テスト内容　振り写し・練習	前週の復習
13	1月21日	講義・演習	後期　実技テスト	テスト内容の練習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してフォーメーションを学ぶ	レポートの提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

シューズ・タオル・ドリンク

科目名	Art of K-POP Vocal (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊 キム・ゴンヒョン
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中での発音，課題曲の練習□
2	5月7日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
3	5月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	5月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
5	5月28日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
6	6月4日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
7	6月11日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	6月18日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
9	6月25日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
10	7月2日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
11	7月9日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	7月16日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
13	8月27日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Art of K-POP Vocal (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊 キム・ゴンヒョン
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようララララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中での発音，課題曲の練習□
2	10月15日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
3	10月22日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	10月29日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
5	11月5日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WE ARE曲の提示)	曲の中での発音，課題曲の練習□
6	11月12日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー(WE ARE曲のチェック)	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
7	11月19日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	11月26日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー(WE ARE曲のチェック)	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
9	12月3日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う	曲の中での発音，課題曲の練習□
10	12月10日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
11	12月17日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	1月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
13	1月21日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して曲，ステージングを学ぶ□	楽曲&パフォーマンスの復習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して曲，ステージングを学ぶ□	楽曲&パフォーマンスの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Art of K-POP Dance (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中での発音，課題曲の練習□
2	5月7日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
3	5月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	5月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
5	5月28日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
6	6月4日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
7	6月11日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	6月18日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
9	6月25日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
10	7月2日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
11	7月9日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	7月16日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
13	8月27日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して曲，ステージングを学ぶ□	楽曲&パフォーマンスの復習
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して曲，ステージングを学ぶ□	楽曲&パフォーマンスの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Art of K-POP Dance (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようララララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中での発音，課題曲の練習□
2	10月15日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
3	10月22日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	10月29日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
5	11月5日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WE ARE曲の提示)	曲の中での発音，課題曲の練習□
6	11月12日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー(WE ARE曲のチェック)	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
7	11月19日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	11月26日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー(WE ARE曲のチェック)	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
9	12月3日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う	曲の中での発音，課題曲の練習□
10	12月10日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音，課題曲の練習
11	12月17日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	1月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情，目、口の使い方を研究
13	1月21日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音，課題曲の練習□
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して曲，ステージングを学ぶ□	楽曲&パフォーマンスの復習
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して曲，ステージングを学ぶ□	楽曲&パフォーマンスの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Vocal Technique (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	Gi-na
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	1998年ソロでメジャーデビュー。TM Revolution主演ミュージカル『Little shop of horrors 』や、ZIGGY、寺田恵子などのコーラスや歌詞提供。the Badassesのヴォーカル、ミュージカル歌唱指導も行なっている。						
授業の学習内容	歌の基本となる発声や姿勢、リズム感などを課題曲に合わせて指導していく。 1年生の時のテクニックをふまえ、細かいニュアンスや発音など、今までに歌ったことのない楽曲を知ることができ、得意な部分を活かしテクニックを向上させてクオリティーを上げ、卒業後の活動に繋げていく。						
到達目標	さまざまなタイプの楽曲を、個性を活かし歌唱、パフォーマンスできるようになり、 アーティストとしてのオリジナル制作、ライブパフォーマンスへと繋げていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業内容の説明、2年生での目標を決める	
2	4月21日	講義・演習	ウォーミングアップ、発声(声の響き)を理解できる	復習、予習
3	5月12日	講義・演習	課題曲提示、歌詞、発音をスムーズにできるようになる	復習、予習
4	5月19日	講義・演習	課題曲1のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習、予習
5	5月26日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解できる	復習、予習
6	6月2日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
7	6月9日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
8	6月16日	講義・演習	課題曲1のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
9	6月23日	講義・演習	課題曲2のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習、予習
10	6月30日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
11	7月7日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
12	7月14日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
13	8月25日	講義・演習	課題曲2のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習、予習
14	9月8日	講義・演習	イベントを通し人の前で歌うことを学ぶ	楽曲の復習
15	9月15日	講義・演習	イベントを通し人の前で歌うことを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			その日やった復習と予習	

【使用教科書・教材・参考書】

授業専用のノート、筆記用具、マイク。

科目名	Vocal Technique (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	Gi-na
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	1998年ソロでメジャーデビュー。TM Revolution主演ミュージカル『Little shop of horrors 』や、ZIGGY、寺田恵子などのコーラスや歌詞提供。the Badassesのヴォーカル、ミュージカル歌唱指導も行なっている。						
授業の学習内容	歌の基本となる発声や姿勢、リズム感などを課題曲に合わせて指導していく。 前期で取得したテクニックを活かし細かいニュアンスや発音など、今までに歌ったことのない 楽曲を知ることができ、得意や苦手を知りテクニックを向上させてクオリティーを上げる。新しい自分への発見にもつながってほしい						
到達目標	さまざまなタイプの楽曲を、個性を活かし歌唱、パフォーマンスできるようになり、 アーティストとしてのオリジナル制作、ライブパフォーマンスへと繋げていき、卒業後も活動できるようにしていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲3の提示、アナライズで歌詞を理解できる	
2	10月13日	講義・演習	課題曲3のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習　予習
3	10月20日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
4	10月27日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
5	11月3日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
6	11月10日	講義・演習	課題曲3のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
7	11月17日	講義・演習	課題曲4の提示、アナライズで歌詞を理解できる	復習　予習
8	11月24日	講義・演習	課題曲4のアナライズを経てメロディを歌うことができる	復習　予習
9	12月1日	講義・演習	課題曲4のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
10	12月8日	講義・演習	課題曲4のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
11	12月15日	講義・演習	課題曲4のリズムとメロディの関係を理解でき実践できる	復習　予習
12	1月19日	講義・演習	課題曲の中から選択、テストに向けてMC込みのリハができる	復習　予習
13	2月2日	講義・演習	選択した曲でのパフォーマンスができる	復習　予習
14	2月9日	講義・演習	イベントを通し人の前でテクニックを活かし歌うことを学ぶ	楽曲の復習
15	2月16日	講義・演習	イベントを通し人の前でテクニックを活かし歌うことを学ぶ	楽曲の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

授業専用のノート、筆記用具、マイク。

科目名	Piano Duo A(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	吉田華奈 加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	吉田華奈：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 加藤エレナ：幅広いジャンルのサポートキーボーディストとして活躍。海外ミュージシャンのツアーにも多数参加。″□						
授業の学習内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。 また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。						
到達目標	1つの楽曲を歌う中で演奏のリードができる。曲の始まり、終わり方など簡単な演奏のアレンジや相談が問題なくできるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	演奏の練習
2	4月24日	講義・演習	基本的なアンサンブル。各自課題に沿って演奏	フィードバックにより各自の課題に取り組む
3	5月8日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	新しい課題曲の練習、研究
4	5月15日	講義・演習	基本的なアンサンブル。各自課題に沿って演奏	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	5月22日	講義・演習	演奏のリードに挑戦する	新しい課題曲の練習、研究
6	5月29日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに挑戦する	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	6月5日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	新しい課題曲の練習、研究
8	6月12日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	6月19日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、研究
10	7月3日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	7月10日	講義・演習	演奏の中で前期の課題を全て行う	新しい課題曲の練習、研究
12	7月17日	講義・演習	前期の課題にパフォーマンスを加える	各自課題曲を選曲、自身の課題に沿って練習
13	8月21日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo A(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	吉田華奈 加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	吉田華奈：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 加藤エレナ：幅広いジャンルのサポートキーボーディストとして活躍。海外ミュージシャンのツアーにも多数参加。″□						
授業の学習内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。最終的にはピアノと息の合った演奏が出来る上で、自身の個性と楽曲に合わせた表現、パフォーマンスが出来るようになってほしい。						
到達目標	高い水準の楽曲でも、柔軟に演奏中の会話、パフォーマンスが出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	16分音符が多い楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、研究
2	10月16日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
3	10月30日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
4	11月6日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	11月13日	講義・演習	3拍子の楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
6	11月20日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	11月27日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画。
8	12月4日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	12月11日	講義・演習	難しい曲でのアレンジ、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
10	12月18日	講義・演習	難しい曲で演奏中の指示出し、表現に挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	1月15日	講義・演習	1曲の演奏の中で後期の課題を行う	各自演奏曲を選曲、自身の課題に沿って練習
12	1月22日	講義・演習	パフォーマンスを加えリハーサル	各自前回のフィードバックに沿って練習
13	2月5日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo B(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	橋元美沙：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 田中ひなの：幼少期よりクラシックピアノを学び、ミュージシャン、作編曲家として活動。						
授業の学習内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。 また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。						
到達目標	1つの楽曲を歌う中で演奏のリードができる。曲の始まり、終わり方など簡単な演奏のアレンジや相談が問題なくできるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	演奏の練習
2	4月24日	講義・演習	基本的なアンサンブル。各自課題に沿って演奏	フィードバックにより各自の課題に取り組む
3	5月8日	講義・演習	基本的なアンサンブル、マイキング等トレーニング	新しい課題曲の練習、研究
4	5月15日	講義・演習	基本的なアンサンブル。各自課題に沿って演奏	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	5月22日	講義・演習	演奏のリードに挑戦する	新しい課題曲の練習、研究
6	5月29日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに挑戦する	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	6月5日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	新しい課題曲の練習、研究
8	6月12日	講義・演習	演奏のリード、アレンジに慣れる	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	6月19日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、研究
10	7月3日	講義・演習	楽曲のサイズ変更、演奏中の指示出しに挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	7月10日	講義・演習	演奏の中で前期の課題を全て行う	新しい課題曲の練習、研究
12	7月17日	講義・演習	前期の課題にパフォーマンスを加える	各自課題曲を選曲、自身の課題に沿って練習
13	8月21日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Piano Duo B(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		

教員の略歴	橋元美沙：THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。 田中ひなの：幼少期よりクラシックピアノを学び、ミュージシャン、作編曲家として活動。
授業の学習内容	様々な課題曲をデュオ形式で演奏することで、言葉だけでなく音楽で演奏中の会話、アンサンブルが出来るようになる。 また、ベーシックキーボードや音楽理論等、他の授業で得た知識も生かし、簡単な演奏のアレンジにも挑戦できる。最終的にはピアノと息の合った演奏が出来る上で、自身の個性と楽曲に合わせた表現、パフォーマンスが出来るようになってほしい。
到達目標	高い水準の楽曲でも、柔軟に演奏中の会話、パフォーマンスが出来る。
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	16分音符が多い楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、研究
2	10月16日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
3	10月30日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
4	11月6日	講義・演習	16分音符が多い楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
5	11月13日	講義・演習	3拍子の楽曲でアンサンブルを学ぶ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
6	11月20日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリードする	各自前回のフィードバックに沿って練習
7	11月27日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	新しい課題曲の練習、アレンジを計画。
8	12月4日	講義・演習	3拍子の楽曲で演奏をリード、アレンジ	各自前回のフィードバックに沿って練習
9	12月11日	講義・演習	難しい曲でのアレンジ、演奏中の指示出しに挑戦	新しい課題曲の練習、アレンジを計画
10	12月18日	講義・演習	難しい曲で演奏中の指示出し、表現に挑戦	各自前回のフィードバックに沿って練習
11	1月15日	講義・演習	1曲の演奏の中で後期の課題を行う	各自演奏曲を選曲、自身の課題に沿って練習
12	1月22日	講義・演習	パフォーマンスを加えリハーサル	各自前回のフィードバックに沿って練習
13	2月5日	講義・演習	授業内発表会	人に見せることを意識して練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベントを通してアンサンブルと表現を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	作曲＆アレンジ(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	コード進行を理解して作曲できるようにする。アカデミックなアプローチも理解し、幅広いメロディが作れるようにする。						
到達目標	自分の思う通りに作曲ができ、作った曲を音源として聞かせることが出来るようにする。 作曲を通じて、他の人が作曲した曲を演奏する際、意図を汲んで演奏できるようになってほしい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	音楽理論の基礎：音階、コード、リズムの基本を学ぶ。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
2	5月7日	講義・演習	楽器の紹介：ピアノ、ギター、ドラムなどの基本的な楽器の役割と使い方。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
3	5月14日	講義・演習	メロディの作成：メロディラインの作成方法と基本的なテクニック。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
4	5月21日	講義・演習	コード進行：基本的なコード進行とその応用。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
5	5月28日	講義・演習	リズムとテンポ：リズムパターンとテンポの設定方法。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
6	6月4日	講義・演習	楽器のアレンジ：異なる楽器の組み合わせとアレンジの基本。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
7	6月11日	講義・演習	音楽ソフトウェアの紹介：DAW（デジタルオーディオワークステーション）の使い方。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
8	6月18日	講義・演習	録音技術：基本的な録音技術と機材の使い方。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
9	6月25日	講義・演習	ミキシングの基礎：音のバランスとエフェクトの使い方。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
10	7月2日	講義・演習	簡単な曲の作成：これまで学んだ内容を使って簡単な曲を作成。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
11	7月9日	講義・演習	ジャンルの研究：異なる音楽ジャンルの特徴と作曲方法。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
12	7月16日	講義・演習	メロディの発展：複雑なメロディラインの作成方法。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
13	8月27日	講義・演習	高度なコード進行：複雑なコード進行とその応用。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ。	イベントに向けた楽曲制作を授業外で行う
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ。	イベントに向けた楽曲制作を授業外で行う
準備学習　時間外学習			授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	作曲＆アレンジ(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2007年よりギタリスト、作編曲家としてレコーディングや楽曲制作を行う						
授業の学習内容	4リズムのアレンジができるように、各楽器の役割について理解する。またアレンジによってどのようにメロディの聞こえ方が変わるか理解する。						
到達目標	アレンジの音の組み立て方を理解できるようになり、自分で組み立てられるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	リズムの変化：異なるリズムパターンの作成と応用。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
2	10月15日	講義・演習	楽器のアレンジ技術：高度な楽器アレンジのテクニック。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
3	10月22日	講義・演習	音楽ソフトウェアの応用：高度なDAWの使い方。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
4	10月29日	講義・演習	録音技術の応用：プロフェッショナルな録音技術。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
5	11月5日	講義・演習	ミキシングの応用：高度なミキシング技術とエフェクトの使い方。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
6	11月12日	講義・演習	曲の完成：応用技術を使って曲を完成させる。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
7	11月19日	講義・演習	プロジェクトの計画：個人またはグループでの作曲プロジェクトの計画。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
8	11月26日	講義・演習	アイデアのブレインストーミング：プロジェクトのアイデアを出し合う。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
9	12月3日	講義・演習	オーケストレーションの基礎：楽器の配置と役割を決定する方法。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
10	12月10日	講義・演習	楽器編成の応用：高度な楽器編成のテクニック。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
11	12月17日	講義・演習	音色の応用：高度な音色作成技術。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
12	1月14日	講義・演習	アレンジの実践：応用技術を使ってアレンジを実践。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
13	1月21日	講義・演習	高度なメロディ装飾：複雑なメロディラインの装飾方法。	授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	イベントに向けた楽曲制作を授業外で行う
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	イベントに向けた楽曲制作を授業外で行う
準備学習　時間外学習			授業外での楽曲制作とアレンジ練習を行う	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	DTM(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYouTuberへの楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習内容	DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	各パーツのベロシティーとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる
2	4月24日	講義・演習	各パーツのベロシティーとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる
3	5月8日	講義・演習	ベロシティー、デュレーション、ロケーションの設定方法を学んでグルーブがあるBassを打ち込めるようになる。	属の色々な種類のベースの音を出してみる
4	5月15日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでグルーブがあるBassを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のベースの音を出してみる
5	5月22日	講義・演習	演奏表現(コード・ストローク、ブラッシング・ミュート、カッティング)のプログラミングを学んでギターのバッキングを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のギターの音を出してみる
6	5月29日	講義・演習	ジャンル別の両手を使ってのバッキングを学んでピアノのバッキングが打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のピアノの音を出してみる
7	6月5日	講義・演習	各ストリングス系楽器の(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)の調弦および音域を学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる
8	6月12日	講義・演習	各ストリングス系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)のフレーズを学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる
9	6月19日	講義・演習	ピッチベンド、エクスプレッションを使いながらホーンのフレーズを学んでホーンのフレーズを打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のホーンの音を出してみる
10	7月3日	講義・演習	良い音を録るレコーディング方法を学んでレコーディングができるようになる。	マイクを使って色々な音を録音してみる
11	7月10日	講義・演習	波形編集を学んで録ったオーディオをEDITできるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
12	7月17日	講義・演習	EQやCompを使用して音の変化を学んで各楽器の帯域が分かるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
13	8月21日	講義・演習	トラックインサートとマスターチャンネルに刺すプラグインを学んで、自分の楽曲に必要なプラグインか不要なプラグインかが判断できるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナル

科目名	DTM(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYouTuberへの楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習内容	DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、 音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ドラムの各パーツの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる
2	10月16日	講義・演習	ドラムの各パーツの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる
3	10月30日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでBassの感情表現を打ち込みでできるようになる。	付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる
4	11月6日	講義・演習	根音以外の音を使って動きのあるベースを学んで上下の立体感をベースで作れるようになる。	付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる
5	11月13日	講義・演習	演奏表現(チョーキング、ビブラート、スライドハンマリング・プリングオフ)のプログラミングを学んでギターの感情表現を打ち込みでできるようになる。	付属の色々な種類のギターの音をEDITしてみる
6	11月20日	講義・演習	エレピのボイシング(オープンボイシング)を学んで少ない音数でも美しい広がりがあるボイシングを奏でられるようになる。	付属の色々な種類のエレピの音を出してみる
7	11月27日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスのフレーズを作れるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる
8	12月4日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスで裏メロを作れるようになる。	付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる
9	12月11日	講義・演習	ホーンの奏法(シェイク、アタック・ベンド、ポルタメント、タンギング/スラー、フォール・オフ/アップ、ドロップ)を学んでホーンの奏法を打ち込めるようになる。	付属の色々な種類のホーンの音をEDITしてみる
10	12月18日	講義・演習	EQ,コンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
11	1月15日	講義・演習	EQ,コンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
12	1月22日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグルーブを学んでグルーブを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
13	2月5日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグルーブを学んでグルーブを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習　時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナル

科目名	JazzDance(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	寺本藍
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」」→主に、ジャズダンスの基礎となるバレエ・コンテンポラリー・テーマパークなど。 ③「学生にどうなって欲しいか」(講師の思い)」→身体の使い方をしっかり理解し表現出来き、怪我をしない上質な身体を作って下さい。						
到達目標	1年生で学習し覚えた事を実践し、自分の踊り・身体について良いところ、足りないところを毎回考える事。自分の理想の体型になる事を目標にしてください。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標の確認。	自分の目標を決める。
2	5月7日	講義・演習	身体の作り(骨、筋肉)の復習。	授業で学んだ事を再度確認し、覚える。
3	5月14日	講義・演習	身体の作りの復習の続きとどの様な動きかを再度実践。	授業で学んだ事を再度確認し、覚える。
4	5月21日	講義・演習	3週目に説明した動きがダンスの何に必要か実際動かして確認。	実際に体を動かし学んだことを身体に覚えさせる。
5	5月28日	講義・演習	ターン、ピルエットの応用(回転の回数を増やす)	首のきり方のタイミング。パッセの高さが落ちない様に意識。
6	6月4日	講義・演習	ピケターンダブルの練習開始。	軸足の伸び、プリエからロンデの足の運びを確認。
7	6月11日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	動きの順番、繋がりを覚える。
8	6月18日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習。	繰り返し練習。
9	6月25日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け開始。	注意された所の直しと強化。
10	7月2日	講義・演習	振り付けの追加、振りの意味の説明。	振り付けの意味を今一度考え落とし込む。
11	7月9日	講義・演習	構成を付け作品について考える。	どの様に表現すれば見ている人に伝わるか考える。
12	7月16日	講義・演習	実技テストの課題練習。	自分の中で満足いくまで練習を重ねる。
13	8月27日	講義・演習	実技テスト。	足りなかったことを見つめ直し、次に活かせる様まとめる。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出
準備学習　時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	JazzDance(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	寺本藍
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」」→主に、ジャズダンスの基礎となるバレエ・コンテンポラリー・テーマパークなど。 ③「学生にどうなって欲しいか」(講師の思い）」→自分の身体を理解し、しっかり身体を使え表現出来る質の高いパフォーマーを目指して欲しい。						
到達目標	プロになる為、人前に立つ事を意識した身体作り。ダンスの見せ方考え習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	1年生で学んだことにプラス、アプローチを意識した柔軟・筋トレによる身体作りの強化。（腹筋）	ストレッチ・腹筋を意識した筋トレ。
2	10月15日	講義・演習	1年生で学んだことにプラス、アプローチを意識した柔軟・筋トレによる身体作りの強化。（背筋）	ストレッチ・背筋を意識した筋トレ。
3	10月22日	講義・演習	1年生で学んだことにプラス、アプローチを意識した柔軟・筋トレによる身体作りの強化。（腕、肩甲骨周りを意識した筋トレ。	ストレッチ・腕、肩甲骨周りを意識した筋トレ。
4	10月29日	講義・演習	3週で学んだ筋力を取り入れた振り付け開始。	必要な筋力を使い踊れているか確認と練習。
5	11月5日	講義・演習	振付けの追加。	ジャズに必要な手足の先の美しさ柔らかさも出来ているか確認。
6	11月12日	講義・演習	振りの踊り込み。	4.5週目の課題を取り入れ踊り込み。
7	11月19日	講義・演習	4週目からの振付けの発表。フィードバック。	フィードバックをまとめ次に活かせることを考える。
8	11月26日	講義・演習	卒業に向け、テスト課題開始。前期から学んだことを取り入れた振付け。	振りを覚える＋学んできた事を活かせているか確認し練習。
9	12月3日	講義・演習	8週目の振りの確認と振り付けの追加。	追加分の振付を固める。
10	12月10日	講義・演習	振りの意味を説明する。チームに分け自分達で構成を付け作品について考える。	曲をよく聞き、どの様に表現するかを考える。
11	12月17日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる。	踊りのスキル、表現を全て出せる様に調整。
12	1月14日	講義・演習	実技テストの課題練習。	踊り込み。
13	1月21日	講義・演習	実技テスト	テストをして今の自分を考える。これからさらに何ができるかなど。
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ。	レポートの提出
準備学習　時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	K-POP Rap(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	日吉永昊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	ヴォーカリストとしてライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含む曲の振り練習を行う。						
到達目標	K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	＜自己紹介＞＜ラップの基本概念＞video鑑賞（解説とトレーニング）	K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる
2	4月25日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.（解説とトレーニング、以下省略）	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
3	5月9日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
4	5月16日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
5	5月23日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
6	5月30日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
7	6月6日	講義・演習	＜習得希望曲を決める＞ グループ分け. 発声&リズムトレーニング	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
8	6月13日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.各チームでの練習	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
9	6月20日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.ラップの様々なテクニック	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
10	7月4日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.各チーム発表	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
11	7月11日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.ラップの作詞方法	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
12	7月18日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.オリジナルラップの作成.REC	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
13	8月22日	講義・演習	発声&リズムトレーニング.video鑑賞.前期試験内容発表	楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習
準備学習　時間外学習			自分のダンス姿を動画撮影し復習をする。疑問に思ったことは記録をして授業内で確認する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	K-POP Rap(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	日吉永昊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	ヴォーカリストとしてライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習内容	基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含む曲の振り練習を行う。						
到達目標	K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	K-POPにおけるRAPの意義	K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる
2	10月10日	講義・演習	K-POPにおけるRAPの意義	K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる
3	10月17日	講義・演習	HIP HOPの歴史①	K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる
4	10月31日	講義・演習	HIP HOPの歴史②	K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる
5	11月7日	講義・演習	歌詞の書き方初級	韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる
6	11月14日	講義・演習	歌詞の書き方中級	韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる
7	11月21日	講義・演習	歌詞の書き方実践	韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる
8	11月28日	講義・演習	オリジナルRAP発表	韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる
9	12月5日	講義・演習	RAP発表振り返り	作成したRAPをヴォイスメモに入れて振り返る
10	12月12日	講義・演習	リズムトレーニング①	クリックに合わせてラップを言えるように練習・復習をする
11	12月19日	講義・演習	リズムトレーニング②	クリックに合わせてラップを言えるように練習・復習をする
12	1月16日	講義・演習	テスト課題発表	学んだことの復習・練習
13	1月23日	講義・演習	定期試験	韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる。クリック練習・予習復習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Group Vocal(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる 。 その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス（フォーメーション）、パフォーマンス、マインドを学ぶ。 プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。						
到達目標	歌と踊りそれぞれのスキルアップしていること、1曲の完成度を高め、より本番を意識したステージを作り上げられること。 歌詞の意味を理解し、表現することができるイベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業の説明、課題曲1発表	課題曲準備
2	4月24日	講義・演習	課題曲1、歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
3	5月8日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
4	5月15日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
5	5月22日	講義・演習	クラス内発表、課題曲2、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
6	5月29日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
7	6月5日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
8	6月12日	講義・演習	クラス内発表、課題曲3、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
9	6月19日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
10	7月3日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
11	7月10日	講義・演習	クラス内発表、課題曲4、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
12	7月17日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
13	8月21日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
14	8月28日	講義・演習	クラス内発表、イベント練習	イベントに向けての練習
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。	イベントに向けての練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Group Vocal(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊 神崎絢乃
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして様々なコンサート、Recに参加。アーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる 。 その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス（フォーメーション）、パフォーマンス、マインドを学ぶ。 プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。						
到達目標	歌と踊りそれぞれのスキルアップしていること、1曲の完成度を高め、より本番を意識したステージを作り上げられること。 歌詞の意味を理解し、表現することができるイベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	課題曲5、歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
2	10月16日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
3	10月30日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
4	11月6日	講義・演習	クラス内発表、課題曲6、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
5	11月13日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
6	11月20日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
7	11月27日	講義・演習	クラス内発表、課題曲7、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
8	12月4日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
9	12月11日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
10	12月18日	講義・演習	クラス内発表、課題曲8、歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
11	1月15日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け練習
12	1月22日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表会に向けて個人練習
13	2月5日	講義・演習	クラス内発表、イベント練習	イベントに向けての練習
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。	イベントに向けての練習
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。	イベントに向けての練習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	韓国語(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	盧貞愛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業（韓国語教員資格2級取得）						
授業の学習内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。 仕事の関係で韓国のメディアと触れ合う機械が増えると思い、韓国語を身に付ける事と韓国文化を味わう事で韓流を詳しく理解するのに役に立つと思っています。教科書を用いて講義、韓国語について基礎知識と韓国の文化を学ぶ。 日常生活の会話練習、自分の気分を伝える。						
到達目標	1. ネイティブ発音・イントネーションでなめらかな話ができる。 2. 変則活用を正しく使うようになる。 3. 短い文を連結してもっと長い文で言える。 4. 進行形を正しく使う。 5. 今の状況が話せる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	Lesson21　尊敬語の過去形を話す	表現練習. 会話暗記
2	4月25日	講義・演習	Lesson22　可能・不可能表現	第4章第12課復習
3	5月9日	講義・演習	Lesson23　変則活用 ㄹ、ㅎ、会話文の練習	活用シート完成と練習
4	5月16日	講義・演習	Lesson24　変則活用 ㅂ、ㄹ、会話文で練習	活用シート完成と練習
5	5月23日	講義・演習	Lesson25　命令表現一丁寧な命令、ぞんざいな命令	第4章第13課練習、命令・指示の練習
6	5月30日	講義・演習	Lesson26　文の羅列・理由・先行動作、会話文の練習	第4章第11課練習、
7	6月6日	講義・演習	Lesson27　逆接/逆接の表現	比較する時、頼む時使ってみよう
8	6月13日	講義・演習	Lesson28　現在進行形、状態の進行形	進行形の使い方を区別する練習
9	6月20日	講義・演習	Lesson29　仮定・条件の表現	
10	7月4日	講義・演習	Lesson30　変則活用 ㅇ、ㄷ	活用シート完成と練習
11	7月11日	講義・演習	まとめ	レポート提出
12	7月18日	講義・演習	テスト一筆記試験、会話試験	復習
13	8月22日	講義・演習	韓国の文化	復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

KO　韓国語初歩の初歩、KO 韓国語［文法］トレーニング、できる韓国語初級Ⅰ、Ⅱ

科目名	韓国語(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	盧貞愛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業（韓国語教員資格2級取得）						
授業の学習内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。 仕事の関係で韓国のメディアと触れ合う機械が増えると思い、韓国語を身に付ける事と韓国文化を味わう事で韓流を詳しく理解するのに役に立つと思っています。教科書を用いて講義、韓国語について基礎知識と韓国の文化を学ぶ。 願望、勧誘、禁止、義務、意志、連体形、試みる等もっと積極に会話ができる表現を学ぶ。						
到達目標	1. ネイティブ発音・イントネーションでなめらかな話ができる。 2. 日常生活の会話ができる。 3. 相手の話がよく聞き取れる。 4. 自分の気分をよく伝える。 5. 連体形の使い分けができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Lesson31　願望する、許可を求める	(初歩)第5章第2・6課
2	10月10日	講義・演習	Lesson32　勧誘表現一丁寧な表現・ぞんざいな表現	第5章第7・10課、
3	10月17日	講義・演習	Lesson33　禁止表現一丁寧な表現・ぞんざいな表現	
4	10月31日	講義・演習	Lesson34　義務・必須を言う	会話暗記、自分のしなければならないことを言う練習
5	11月7日	講義・演習	Lesson35　意志・未来表現、会話暗記	活用シート完成、自分の予定を言う練習
6	11月14日	講義・演習	まとめ	
7	11月21日	講義・演習	Lesson36　形容詞の現在連体形練習	活用シート完成・練習、物を修飾する表現練習
8	11月28日	講義・演習	Lesson37　動詞の現在連体形	活用シート完成・練習
9	12月5日	講義・演習	Lesson38　動詞の過去連体形	活用シート完成・練習
10	12月12日	講義・演習	Lesson39　動詞の未来連体形	依頼表現の練習、第4章第13課
11	12月19日	講義・演習	Lesson40　試みる、前もってしておく	レポート提出、試着、試食、試飲で使ってみる練習
12	1月16日	講義・演習	テスト一筆記試験、会話試験	復習
13	1月23日	講義・演習	まとめ、韓国の文化	復習
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	後期に学んだ内容の復習を行う
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	後期に学んだ内容の復習を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

KO　韓国語初歩の初歩、KO 韓国語[文法]トレーニング、できる韓国語初級Ⅰ、Ⅱ

科目名	作詞基礎(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	甲斐健児
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	芸能プロダクションや専門学校にて学生や研究生を対象に作詞を担当。日本音楽著作権協会準会員						
授業の学習内容	これまでに学んだ表現やテクニックを駆使した作品作りの実践。 自分らしい言葉の世界観の構築法を、より具体化させた作詞の制作を展開。						
到達目標	作詞におけるコンセプトや表現、世界観の展開等を様々な実践を通して学び、理解する。 「受け手へのメッセージ力のあるプロ」としての作詞ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	方向性の確認	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
2	4月25日	講義・演習	Aメロの状況説明を細かく設定する	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
3	5月9日	講義・演習	社会的な事項を取り上げる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
4	5月16日	講義・演習	独特の着眼点を持つことができる	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
5	5月23日	講義・演習	発注に対応する力を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
6	5月30日	講義・演習	言葉の持つメロディ性を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
7	6月6日	講義・演習	題材欠乏症の処方箋Ⅰ・題材を探る	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
8	6月13日	講義・演習	題材欠乏症の処方箋Ⅱ・題材を探る	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
9	6月20日	講義・演習	題材欠乏症の処方箋Ⅲ・題材を探る	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
10	7月4日	講義・演習	題材欠乏症の処方箋（番外編）	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
11	7月11日	講義・演習	サウンド志向とストーリーを学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
12	7月18日	講義・演習	様々なジャンルを学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
13	8月22日	講義・演習	前期のまとめ	課題：作詞
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ（1）	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ（2）	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける
準備学習　時間外学習			表現力、コンセプトの実践を通し、プロとして求められる詞の制作過程と表現を確認とする	

【使用教科書・教材・参考書】

自作著物

科目名	作詞基礎(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	甲斐健児
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	芸能プロダクションや専門学校にて学生や研究生を対象に作詞を担当。日本音楽著作権協会準会員						
授業の学習内容	これまでに学んだ表現やテクニックを駆使した作品作りの実践。 自分らしい言葉の世界観の構築法を、より具体化させた作詞の制作を展開。						
到達目標	作詞におけるコンセプトや表現、世界観の展開等を様々な実践を通して学び、理解する。 「受け手へのメッセージ力のあるプロ」としての作詞ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	どこへ発信するために詞を書くのかを学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
2	10月10日	講義・演習	結婚式等、生活に密着した詞を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
3	10月17日	講義・演習	スポーツ等に題材を求める	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
4	10月31日	講義・演習	よりリアリティを出すための手法を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
5	11月7日	講義・演習	より良いフレーズ作りを学ぶ Ⅰ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
6	11月14日	講義・演習	より良いフレーズ作りを学ぶ Ⅱ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
7	11月21日	講義・演習	より良いフレーズ作りを学ぶ Ⅲ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
8	11月28日	講義・演習	歌唱力に合わせた言葉選びを学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
9	12月5日	講義・演習	敢て逆説的な表現を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
10	12月12日	講義・演習	童謡等にみられる形式やリズムの普遍性を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
11	12月19日	講義・演習	自分の音楽と歴史を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
12	1月16日	講義・演習	プロを続けるための多作方法を学ぶ	各自、詩のイメージを準備し、講義後は内容に沿った作詞の演習（制作）を行う。
13	1月23日	講義・演習	一年のまとめ	課題：作詞。
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ（1）	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける。
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ（2）	実体験を通しての反省点と次の課題を見つける。
準備学習　時間外学習			聴講による理解の到達度と表現力を確認し、新たな課題を求めた作詞制作をする	

【使用教科書・教材・参考書】